

令和2年度 第2回

理事会・常置委員会要項

県大会・東北大会報告と引継ぎの会



令和2年度 第2回 理事会参加者名簿 10月20日（火）会津若松ワシントンホテル

No.	ブロック・地区・郡市P連等					氏名		出欠	インター		所属単P	県P役職等		
1	第52日本P T A東北ブ ロック研究 大会会津若 松大会					大会会長		成 澤 勝 蔵	○			若松四中	前県P会長	
2						大会実行委員長		堀 金 寿 臣	○			城南小	前県P理事	
3						大会事務局長		佐 藤 忠 一	○			若松五中	事務局長 (30年度)	
横 山 譲 治								○			城南小	事務局長 (元年～)		
4	福島県小学校長会長					佐 藤 秀 美	○	福島西	会津若松	福島三小	副会長			
5	福島県中学校長会長					佐 藤 晃	×			福島四中	副会長			
6	理事	県北	県北	1	福島	会長(代表)	齋 藤 友 則	○	福島西	会津若松	福島一中	副会長		
7						事務局長	高 橋 健 一	○	飯坂	会津若松	平野小			
8				2	川俣	会長(代表)	池 田 義 寛	○	松川	会津若松	川俣小	総務委員長		
9						3	伊達	会長(代表)	齋 藤 直 人	○	国見	会津若松	県北中	調査広報委 員長
10						4	安達	会長(代表)	大 河 内 威	○	二本松	会津若松	松一中	監事 健全育成委
11		会長				平 塚 康 晴	○	郡山	会津若松	赤木小	会長			
12		県中・ 県南(県中南)	5	郡山	代表		加 瀬 元 三 郎	×			郡山五中			
13					事務局長		湯 田 千 賀 子	×			桜小			
14					6	岩瀬	会長(代表)	橋 本 正 義	○	須賀川	会津若松	須賀川二小		
15			7	石川	会長(代表)	大 河 原 利 久	○	小野	会津若松	ひらた清風中	研修委員長			
16					8	田村	会長(代表)	上 遠 野 芳 勝	○		小野中			
17					9	西白	会長(代表)	安 部 和 幸	○			白河三小	監事	
18			事務局長	小 玉 昭 男			×			白河三小				
19			10	東白	会長(代表)	石 井 洋 平	○	須賀川	会津若松	鮫川中	副会長			
20					会長(代表)		齋 藤 敏 浩	○			若松二中	副会長		
21		会津	12	北会津	事務局長	武 藤 成 也	○			若松二中				
22					会長(代表)	鈴 木 康 弘	×			猪苗代中				
23					13	耶麻	会長(代表)	東 海 林 和 宏	○		喜多方三中			
24					14	両沼	会長(代表)	大 堀 邦 征	○		高田中			
25			南会津	15	南会津	会長(代表)	相 田 知 津 子	○			田島小	監事 安全互助委		
26		事務局長				高 橋 弘 之	○			田島小				
27		浜	16	相馬	会長(代表)	大 内 広 行	○	福島西	会津若松	尚英中	副会長			
28					事務局長	反 畑 増 生	○	福島西	会津若松	尚英中				
29			17		事務局長	早 川 良 一	×			檜葉中				
30					18	いわき	会長(代表)	宗 像 真 人	○	いわき中央	会津若松	中央台南中	副会長	
31		事務局長	丹 孝 平	○			いわき中央	会津若松						
32	母親代表理事	県北	福島市選出				大 須 賀 祐 香	○			吾妻中			
33		県中	郡山市選出				大 平 泉	○	郡山東	会津若松	行健小			
34		県南	郡山市以外の県中南地区				松 谷 恵 理 子	○	須賀川	会津若松	須賀川三中			
35		会津	会津若松市選出				土 井 洋 美	○			若松二中			
36		浜	いわき市選出				佐 久 間 佳 代	○	いわき中央	会津若松	小川中			
37			いわき市以外の浜地区				田 代 悦 子	×			中村一小			
38	事務局	部長			総 務 部 長	中 村 徹	○	松川	会津若松	蓬萊中				
39					庶 務 部 長	高 橋 正 浩	×			御山小				
40					研 修 部 長	唯 木 常 晴	○	松川	会津若松	水原小				
41					調 査 広 報 部 長	菅 野 智	○	松川	会津若松	平石小				
42					会 計 部 長	小 松 浩 行	○	福島西	河 東	富田小				
43		事務局員			事 務 局 長	大 橋 誠 寿	○	出席38名 理事会						
44					事 務 局 員	羽 田 陽 子	○							
45					事 務 局 員	酒 井 香 代 子	○							

座席表 1 ◇県大会引き継ぎの会 38名

2020.10.20 (火) 13:30~14:00 会津若松ワシントンホテル

(敬称略)

県 小 学 校 長 会 長	列1	武藤 1	佐藤忠 2	成澤 3	堀金 4	横山 5	土井 6	PTA旗 スタンド		総務 部長 事務 局長
	列2	齋藤友 5	齋藤敏 6	会長 7	大内 8	宗像 9	石井 10			
	列3	9 福島 高橋	10 川俣 池田	11 伊達 齋藤	12 安達 大河内	13 岩瀬 橋本				
	列4	14 石川 大河原	15 田村 上遠野	16 西白 安部	17 耶麻 東海林	18 両沼 大堀				
	列5	19 南会津 相田	20 南会津 高橋	21 相馬 反畑	22 いわき 丹	23 母代 大須賀				
	列6	24 母代 大平	25 母代 松谷	26 母代 佐久間	27 研修 唯木	28 広報 菅野				
	列7	29 会計 小松	30	31	32 事務局 羽田	33 事務局 酒井				
	列8	34		35		36		37		

資料閲覧テーブル 50周年記念誌を机上に10冊置きます。密にならないように留意してご覧ください。

座席表2 ◇理事会・常置委員会 34名

(敬称略)

2020.10.20 (火) 14:00～15:30 会津若松ワシントンホテル

※ 15:30～16:00 臨時研修委員会 があります。

	斎藤友	斎藤敏	会長	大内	宗像	石井
列1	1		2	3		4
列2	5		6	7		8
列3	9 福島 高橋	10 川俣 池田	11 伊達 斎藤	12 安達 大河内	13 岩瀬 橋本	
列4	14 石川 大河原	15 田村 上遠野	16 西白 安部	17 耶麻 東海林	18 両沼 大堀	
列5	19 南会津 相田	20 南会津 高橋	21 相馬 反畑	22 いわき 丹	23 母代 大須賀	
列6	24 母代 大平	25 母代 松谷	26 母代 佐久間	27 研修 唯木	28 広報 菅野	
列7	29 会計 小松	30 若松 武藤	31 母代 土井	32 事務局 羽田	33 事務局 酒井	
列8	34	35	36	37	38	

総務
部長
事務
局長

資料閲覧テーブル 50周年記念誌を机上に10冊置きます。密にならないように留意してご覧ください。

第2回 理事会・常置委員会順序 2020.10.20 (火)

○県大会引継の会	30分 13:30 ~ 14:00	○理事会	60分 14:30~15:30
○常置委員会	20分 14:00 ~ 14:20		

進行 総務部長 中 村 徹

I 県大会・東北大会報告と引継ぎの会

13時30分 ~ 14時00分

- 1 開会のことば 福島県PTA連合会副会長 石 井 洋 平
- 2 大会会長あいさつ 福島県PTA連合会会長 平 塚 康 晴
- 3 来賓あいさつ（県小学校長会・県中学校長会を代表して）
福島県小学校長会会長 佐 藤 秀 美 様
- 4 開催地区代表あいさつ
県中学校長会北会津支会長・県中学校長会副会長
会津若松大会実行委員会前事務局長 佐 藤 忠 一
- 5 実行委員長あいさつ、大会宣言・決議
第52回日本PTA東北ブロック研究大会会津若松大会・第
68回福島県PTA研究大会会津若松大会実行委員長 堀 金 寿 臣
- 6 経過報告・大会PRビデオ視聴 実行委員会事務局長 横 山 譲 治
- 7 感謝状贈呈
・前福島県PTA連合会会長、東北ブロックPTA協議会副会長 成 澤 勝 蔵 様
・第52回日本PTA東北ブロック研究大会会津若松大会 実行委員会 様
- 8 福島県PTA連合会旗引き渡し

会津大会実行委員長

⇒

福島県PTA連合会会長

⇒

福島大会実行委員長
- 9 次期開催地代表あいさつ
第69回福島県PTA研究大会福島大会実行委員長 齋 藤 友 則
- 10 閉会のことば 福島県PTA連合会副会長 大 内 広 行



＜大会宣言(案)＞

平成23年3月11日の東日本大震災、それに続く東京電力福島第一原子力発電所の事故は、私たちに大きな悲しみをもたらしました。一方で、全国から世界から多くの温かい支援をいただき、絆のありがたさ、大切さを実感させてくれました。また、復興五輪としての東京オリンピック・パラリンピックは改めて東北の地に眼を向けてもらう機会になりました。道半ばとはいえ、東北は復興への道を皆で助け合って歩んでいます。

このような時に、私たちは、『【希望と創造】集おう！ 義をつなぐ 会津の地へ～令和を拓く子どもたちのために～』のスローガンのもと、会津若松の地に東北のPTA会員が集い、第52回日本PTA東北ブロック研究大会 会津若松大会を開催しました。

現代の子どもたちを取り巻く環境は、多様化が進む時代の中で、自己実現の可能性を広げる一方、以前は無かった困難に対応するための様々な力も求めています。家庭・学校・地域社会は、子どもたちの命や人権や将来につながる学びを守るために、何ができるかを考え行動にうつしていく責任があります。

この研究大会では、【希望】【創造】をキーワードに人間の行動規範となるべき「義」を想い、令和という新しい時代をたくましく切り拓いていく子どもたちを見守り、輝く未来に向かう子どもたちの健やかな成長を支えるため、私たちができること、やるべきことを共に学ぶことができました。

今こそ東北のPTA会員一人ひとりが、絆をつなげ、深めていくことで、家庭・学校・地域社会の連携も強くなっていくと考えます。私たちは、ともに手を携え、子どもたちの健全な育成を推進していくことをここに宣言し、次の通り決議します。

＜ 決議 ＞

- 一、 子どもたちが一人ひとりの希望や夢を実現できる PTA 活動を推進します。
- 一、 心身ともに健康で豊かな心を育む P T A活動を推進します。
- 一、 子どもたちの大切な命や人権を守る P T A活動を推進します。

令和2年9月6日 第52回日本PTA東北ブロック研究大会 会津若松大会

Ⅱ 第2回 理事会・常置委員会

14時30分 ～ 15時30分

《常置委員会》 14:00～14:20

全体進行・総務部長 中村 徹

1 委員長あいさつ（各委員会ごとに）

2 協議（司会は委員長）

- (1) 中間反省
- (2) 今後の活動について
- (3) その他

《理事会》 14:30～15:30

全体進行・総務部長 中村 徹

1 開会あいさつ

副会長 斎藤 敏 浩

2 報告事項 会長・事務局長

- (1) 日本PTA全国協議会関係 P7
- (2) 東北ブロックPTA協議会関係
- (3) 受賞者一覧 P9 及び P53
- (4) 習字・ポスターコンクール募集について P10
- (5) 広報紙コンクール募集について P12
- (6) PTAふくしま編集計画、原稿依頼について P13
- (7) 三行詩コンクールについて P14
- (8) 令和2年度教育行政に関する要望活動の報告 P18
- (9) その他

3 協議

議長

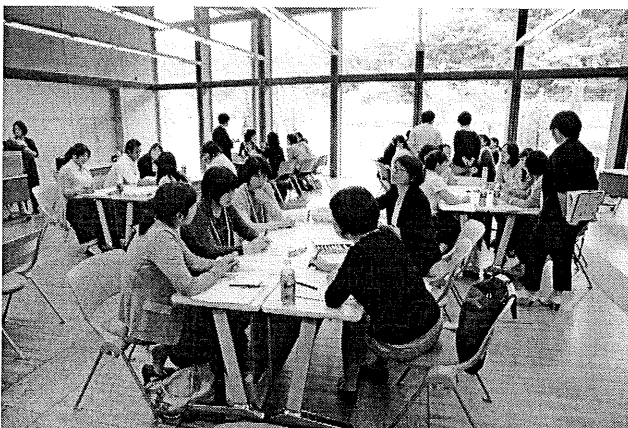
- (1) 常置委員会 各委員会からの報告 P22～P27
- (2) 令和2年7月豪雨災害義援金募集中間報告及び義援金の送金先について P28
- (3) 令和2年度会費の返金について P29
- (4) 地区研究大会補助金の期間限定臨時積み立てについて P34
- (5) ワーキンググループ（特別委員会各作業部会）からの報告 P35
- (6) 子ども総合補償制度について P36
- (7) 70周年記念事業について P38 → 記念誌の各郡市P連のページ案 P45
- (8) 第69回福島県PTA研究大会福島大会について P46
- (9) その他
 - ・県大会ローテーションP50
 - ・安全互助会加入状況P59
 - ・各地区研究大会の開催状況P62

4 連絡事項

進行・総務部長

5 閉会あいさつ

副会長 宗 像 真 人



令和元年度の母親代表懇談会・研修会（郡山市）



令和元年度の東北大会で発表する松谷理事（南陽市）

1 報告事項

1 日P関係

- (1) 第68回日本PTA全国研究大会富山大会 令和2年8月28日(金)～29日(土)
○令和2年4月21日に大会開催の中止が決定
- (2) 令和3年は第69回日本PTA全国研究大会北九州大会となる

(3) 全国PTA広報紙コンクールの結果



「奨励賞」

いわき市立平第一小学校PTA・郡山市立薫小学校PTA・白河市立白河第三小学校PTA
・福島市立瀬上小学校PTA・福島市立鎌田小学校PTA・福島市立森合小学校PTA

会津若松市立第一中学校PTA・福島市立大島中学校PTA・福島市立飯野中学校PTA

(4) 「三行詩」応募の状況・結果

今年度も、早めに呼びかけてきましたが、参加校、応募数とも昨年度よりも減少しました。未だ、6月応募と言うことが各学校に十分定着していない状況にあります。応募数を増やすための対策を今後検討していきたいと考えております。

	応募数(H29)	応募数(H30)	応募数(R1)	応募数(R2)
小学生の部	468	263	208	189
中学生の部	145	119	55	178
一般の部	20	8	5	12
計	633	390	268	379

応募作品の中から、小学校の部5点、中学校の部5部、一般の部5点を日Pに推薦、出品。なお、今年度も、日Pの方に直接送付した作品がありました。送付先は、本会事務局宛となりますので、各地区で徹底を図って頂くようお願いします。

◇ 県審査結果は別紙一覧のとおり

◇ 日本PTA全国協議会の最終審査結果は下記のとおり



(※全国入賞数10点 内訳文科大臣賞1、功労大臣賞1、早寝早起き全国協議会長賞1、日P会長賞1、佳作6)

(5) 令和2年度日P会長表彰年次表彰式

- 本県からの内申のとおり決定 別紙一覧参照
- 表彰式 令和2年年11月27日(金)「灘尾ホール」(千代田区霞が関)
- 案内通知は、10月 日() 発送済み。

(6) 日P北九州大会 と 東北P盛岡大会の宿舍仮予約について
(前泊2むはく3日) (1泊2日)

(7) その他

- 日P「子どもとメディアに関する意識調査」(9月下旬～10月上旬)への協力
令和元年度協力校 小→原町三小 中→二本松二中
- 研修事業・・・令和3年3月下旬 実施か中止か未だ連絡なし
沖縄県渡嘉敷島で、国内交流による絆を深めるとともに、研修・体験を通して視野を深める事業を実施する。
今年度実施であれば、安達地区から推薦(中2男女各1名) →
※ 募集は、・・・安達地方PTA連合会の推薦を受けて日Pへ推薦。
- ※ 昨年から参加費が65,000円となりました。
例年どおり、参加費と旅費補助金2万円を補助 → 1人 85,000円

2 東北P関係

第52回東北ブロックPTA研究大会会津若松大会・第68回福島県PTA研究大会会津若松大会……………詳細は実行委員会より説明

3 県P連事業等

(1) 令和2年度表彰について

- ① 日本PTA会長表彰推薦
- ② 東北PTA連絡協議会長表彰
- ③ 県PTA連合会会長表彰

(2) 「第26回母親代表者懇談会」・・・9月25日(金)の予定
第1回理事会で中止が決定

(3) 令和2年度教育行政に関する要望活動の報告

(4) 「みちのく未来塾」東北各県の中学生との交流事業 →6月の評議員会要項P26参照
◆今年度は、開催を見送り

(5) 福島県PTA連合会特別委員会として「ワーキンググループ」を立ち上げて活動してきた
内容について
別紙参照

(6) その他

- ①水俣再訪について
 - ◇ 平成25年度から29年度の5年間実施した「福島・水俣交流事業」参加者で水俣再訪を希望する者の中から選考して水俣再訪事業を実施
 - ◇ 主管は、過去の実行委員会OBで組織する「水俣再訪実行委員会」が企画、運営
 - ◇ 経費は、「福島からの発信・活動等支援基金」からの交付金と参加者の自己負担によりまかなう
- ◆今年度は、開催を見送り

令和2年度 日P・東北P、文科省等 表彰受賞一覧（敬称略）

1 日本PTA全国協議会 会長表彰 11月27日（金）日P年次表彰式実施予定）

団 体	1	福島市立御山小学校父母と教師の会	
	2	二本松市立東和小学校PTA	
個 人	1	成 澤 勝 蔵	令和元年度 会長
	2	野 田 誠	令和元年度 副会長
	3	小 林 裕 子	平成30年度～令和元年度 副会長

2 東北ブロックPTA協議会 会長表彰 （令和元年9月8日表彰式実施）

感謝状		成澤勝蔵	前 福島県PTA連合会会長
団体	1	福島市立飯野中学校父母と教師の会	
	2	伊達市立保原小学校PTA	
	3	伊達市立伊達小学校PTA	
	4	伊達市立石田小学校PTA	
	5	二本松市立二本松第二中学校PTA	
	6	本宮市立本宮小学校父母と教師の会	
	7	郡山市立薫小学校父母と教師の会	
	8	須賀川市立第二中学校父母と教師の会	
	9	田村市立常葉小学校父母と教師の会	
	10	南会津町立伊奈小学校父母と教師の会	
個人	1	佐々木 義 通	令和元年度 副会長
	2	渡 邊 みゆき	平成30年度～令和元年度 母親代表理事
	3	大 泉 きよみ	平成28年度～令和元年度 母親代表理事
	4	重 巢 吉 美	平成30年度～令和元年度 事務局長理事
	5	佐 原 聡	平成30年度～令和元年度 事務局長理事
	6	芦 野 孝 彦	平成30年度～令和元年度 研修部長
	7	角 井 勇 三	平成30年度～令和元年度 会計部長

○ 日本PTA第42回全国小・中学校PTA広報紙コンクール(11.27 年次表彰式)

○ 文部科学大臣表彰 10月中旬発表予定(11月27日（金）日P年次表彰式)

優良PTA文部科学大臣表彰	
優良PTA文部科学大臣表彰	

○ 福島県教育委員会表彰 優良PTA福島県教育委員会表彰 10月中旬発表予定

優良PTA福島県教育委員会表彰	
優良PTA福島県教育委員会表彰	

○ 福島県PTA連合会 会長表彰

◇感謝状 35名 ◇団体表彰 22団体 ◇個人表彰 69名			
※ 第68回福島県PTA研究大会会津若松大会要項参照・PTAふくしま第113号参照			

第44回子どもの災害事故防止習字・ポスター展実施要項

「10月21日付けで発送いたします」 (2020.10.20 理事会資料)

- 1 趣 旨 子どもたちにとって、遊びは自然を理解し、自主性や創造性を培い、社会のモラル等を身につける大切な場である。しかし、そこには様々な災害事故がつきまとうことも事実である。
そこで、安全についてより一層正しい認識を持つことと、事故防止の啓発を図るために、災害事故防止「習字」及び「ポスター」を募集する。
- 2 主 催 福島県PTA連合会 (福島県PTA安全互助会)
- 3 後 援 福島県教育委員会 福島県小学校長会 福島県中学校長会
福島民報社 福島民友新聞社 (申請中です)
- 4 募集要領

(1) 課題・応募点数と留意点

習字の部 課題と留意点

小学校(楷書)	1年 さか	2年 みち	3年 大川
	4年 花火	5年 湖水	6年 道具
中学校(行書)	1年 防災	2年 救急	3年 整理

◆ 留意点 例年、学校名の記入(押印)漏れがあるので注意。

- ① 用紙は半紙を使用する。出品者名簿をメール送信提出すること。
- ② 小学校は楷書とし、中学校は行書とする。
- ③ 学校名と、氏名を書くこと。学年は書かないこと。
- ④ 学校名はゴム印でもよいが、氏名は必ず自署する。
- ⑤ 応募数は、校内審査のうえ 各学年5点以内 とする。(厳守)



ポスターの部 課題と留意点

◆ 留意点 災害防止の標語を入れた自由作品

※四つ切り版以外のサイズは審査対象外とします。

- ① 親子で考えてもよいが、製作は子どもとする。
- ② 「災害事故防止」に関する標語を描き入れる。
- ③ 用紙の大きさは四つ切版とする。
出品者名簿をメール送信提出すること。

- ④ 裏面に学校名、学年、氏名を記入する。

- ⑤ 応募数は、校内審査のうえ 各学年5点以内 とする。(厳守)



(2) 応募資格 県内小・中学校児童・生徒とする。(小1～中3)

(3) 応募期間 ポスター ~~令和2年8月24日(月)～9月18日(金)(必着)~~
令和3年1月8日(水)～1月21日(木)(必着)

習 字 令和3年1月8日(水)～1月21日(木)(必着)

(4) 応募先 〒960-8153 福島市黒岩字田部屋53-5 県青少年会館内
福島県PTA連合会事務局「習字・ポスター展係」

5 表彰

(1) 審査会 ポスター ~~令和2年9月29日(火)~~ 令和3年2月9日(火)

習字 令和3年2月8日(月)

(2) 入賞 小・中学校各学年ごと、
最優秀賞(1点)・優秀賞(数点)・優良賞(数点)・佳作(数点)
優良賞以上には賞状と賞品を、佳作と他の応募作品には賞状を授与する。
※賞状・賞品の発送をもって表彰式にかえるので、各校で伝達披露などをお願いします。

6 作品の展示・掲載等について

(1) 優秀作品(最優秀・優秀・優良賞)は、一定期間、展示広報する。

◇場所：県青少年会館2階

◇期間：ポスター ~~令和2年10月3日(土)～10月18日(日)~~

令和3年2月20日(土)～3月7日(日)

習字 令和3年2月20日(土)～3月7日(日)

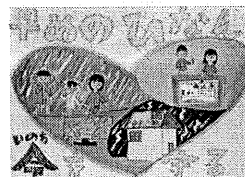
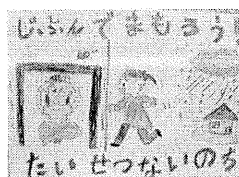
(2) 優秀作品の一部は、県Pホームページ、県PTA安全互助会報告書、県P連会報「PTAふくしま」に作品と氏名、学年、学校名を掲載します。

入賞者一覧表については、氏名・学年・学校名の情報が、県Pホームページ、県P連会報「PTAふくしま」、及び福島民報・福島民友の各新聞紙上に掲載される予定です。

(3) 応募があった時点で上記(1)、(2)に同意したものとして取り扱いさせていただきます。

(4) 応募作品は原則として返却しません。返却を希望する場合は、県Pホームページの「災害事故防止習字・ポスター展」のページの登録フォームから返却を申し込んでください。送料は着払い(応募者負担)となりますのでご了承ください。

令和元年度子ども災害事故防止ポスターコンクール学年別最優秀賞



令和2年11月

学 校 長 様
P T A会長 様
広報委員長 様

福島民友新聞社
福島県P T A連合会

第56回「福島県小中学校P T A広報紙コンクール」のご案内

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、福島民友新聞社と福島県P T A連合会は、広報紙の内容充実と制作技術の向上を図る事を目的として「福島県小中学校P T A広報紙コンクール」を実施いたします。

つきましては、下記内容をご確認いただき、ご応募いただきますようお願い申し上げます。

謹白

記

■ 対 象 県内小中学校のP T Aで2020年度（2020年4月から2021年3月まで）に発行された広報紙（コロナ禍により例年の2回発行という条件がありません）

■ 応募方法 お申し込みご担当者様の氏名、ご住所、ご連絡先を明記ください
〒960-8648 福島市柳町4-29
福島民友新聞社事業局「福島県P T A広報紙コンクール係」まで
2020年度（2020年4月から2021年3月まで）に発行された広報紙を1部
（2回以上発行の場合は各号1部を）直接窓口までお持ちいただくか、郵送にてお送り願います。

■ 締め切り 令和3年4月 日（ ） 必着

■ 表 彰 最優秀/優秀/入選
※各賞に盾・賞状を贈ります
※P T A広報紙の上位作品は、全国コンクールへ出品となります

主 催 福島民友新聞社、福島県P T A連合会
後 援 福島県教育委員会、福島県小学校長会、福島県中学校長会

問い合わせ 福島民友新聞社 事業部
電 話 024-523-1334

県PTA会報「第113号」編集計画(案)

1 発行期日 令和2年12月11日(月) 予定

2 発行までの日程

- (1) 編集計画立案 10月20日(火) (5) 印刷発注 11月24日(月)
(2) 原稿執筆依頼 10月20日(火)～ (6) 一次校正 11月30日(月)
(3) 原稿締切 11月16日(月) (7) 二次校正 12月4日(金)
(4) 編集完了 11月20日(金) (8) 発行 12月11日(月)

3 編集計画

(1) ページ数 A4版 4ページ

(2) 内容等について

ページ	内 容	原稿執筆者(依頼先)
1	○副会長より一言 (顔写真+原稿 字× 行程度)	県P連副会長5名
2	○「特色あるPTA活動」～令和元年度表彰団体2校 ・福島市立御山小学校父母と教師の会 ・二本松市立東和小学校PTA (原稿:リポート活動15年×40程度、活動写真1～2枚程度)	令和元年度全国表彰団体2校
	○晴れの表彰おめでとうございます	事務局長
3	○健全育成委員会より(三行詩 健全育成委員会一任)	健全育成委員会担当(庶務部長)
4	○県教育長との懇談・要望(原稿、写真) ○事務局からのお知らせ ・安全互助会から等 ・編集後記 ・共栄火災広告	事務局長 事務局長

(3) 各校配付部数 6部

県PTA会報「第114号」編集計画(案)

1 発行期日 令和3年3月1日(月) 予定

2 発行までの日程

- (1) 編集計画立案 10月20日(火) (5) 印刷発注 2月4日(木)
(2) 原稿執筆依頼 10月20日(火)～ (6) 一次校正 2月12日(金)
(3) 原稿締切 1月22日(金) (7) 二次校正 2月19日(金)
(4) 編集完了 1月29日(金) (8) 発行 3月1日(月)

3 編集計画

(1) ページ数 A4版 4ページ

(2) 内容等について

ページ	内 容	原稿執筆者(依頼先)
1	○県教育庁社会教育課長挨拶(顔写真・原稿) (顔写真+原稿20字×35行程度) ○第2回理事会・常置委員会より 「本年度を振り返って・次年度に向けて」 (原稿・写真)	県教育庁社会教育課長様 広報部 ※写真は広報部撮影
2	○子ども災害事故防止習字・ポスター展 (リポート 顔写真 原稿 1ページ分事務局長一任)	事務局長
3	○第69回福島県PTA研究大会福島大会PR (レイアウト一切一任)	大会実行委員長
4	○事務局からのお知らせ(1ページ分事務局長一任) ・70周年記念事業について ・安全互助会から等 ・編集後記 ・共栄火災広告	事務局長

(3) 各校配付部数 6部

2020年度「楽しい子育て全国キャンペーン」 三行詩
～家庭で話そう！我が家のルール・家庭のきずな・命の大切さ～

たくさんの小学生・中学生・保護者の皆様から、「きずな・家庭のルール・家庭教育の大切さや命の大切さ」などに関する作品をいただきました。
『日本PTA全国協議会』に、15点の作品を福島県推薦作品として推薦いたしました。



県推薦作品（優秀賞）

小学生の部

ままはりょうりのてんさい おとうとはないてつたえるてんさい ぼくはあそびをかながえるてんさい
い ばばはかいじゅうやヒーローにもなれるへんしんのてんさい みんなわらう声の大きさがてんさい
鏡石町立第一小学校1年 小川 愁太

いっぱいおこられるけど おかあさんがにっこりわらってぎゅっとしてくれるときが ぼくはいちば
んうれしい 南相馬市立鹿島小学校1年 鈴木 悠斗

お父さんのにおいがすき お母さんのにおいがすき せんたく物のにおいがすき ごはんのにおいが
すき みんなまざった 家のにおいが大すき いわき市立湯本第二小学校3年 橋本 想央

生まれてきてくれてありがとう 産んでくれてありがとう ねる前の「愛言葉」
須賀川市立第一小学校5年 竹ノ内 葵汐

只今反抗期 言葉は「うるさい」心は「ごめん」 もう少しだけ付き合っ
て 南会津町立田島第二小学校6年 佐藤 駿成

中学生の部

「どうだった？」帰ると必ず聞く言葉 またかと思うがないとさびしい 母と僕との会話のはじまり
南会津町立荒海中学校1年 廣野 智仁

母が作ったお弁当を楽しみに 今日1日頑張ろう 感謝の気持ちは空っぽにした弁当箱
南会津町立荒海中学校1年 山内 颯雅

おこづかい目的で始めた風呂洗い 100円よりも「ありがとう」のほうがうれしいと気付く
南会津町立荒海中学校2年 君島 心希

朝からケンカしてムスッと私は「行って来ます」 思い口調で母が「行ってらっしゃい！」 毎日感
じているよ、そっと窓から私の姿を見送る心配症の母。
いわき市立藤間中学校3年 御幡 心望

プレッシャーに負けた試合 あの日の悔し涙 次は笑顔で楽しくプレーすればいい 母の言葉に心の
中で嬉し涙 いわき市立藤間中学校3年 鈴木 聖奈

一般の部

娘が迎えた思春期に”ようやく来たな”と冷静になれる自分がある。そして空を見上げて思うんだ。
”お母さん。あの頃は本当にごめんね。”と。きっと笑っているだろうな。天国の母。
福島市立御山小学校保護者 沼崎 智恵

「ただいま」の声でかけよる我が子達。その笑顔から一日が楽しく幸せだったことがすぐ分かり、
ホッと安心。そして、母のパワー充電すぐ満タン。
会津若松市立川南小学校保護者 佐藤 陽子

徒競走 後方走る娘見て あきらめない姿が誇らしい
南会津町立田島第二小学校保護者 星 英一郎

怒りすぎて鬼になると 生まれた時の写真を見て クールダウン
只見町立明和小学校保護者 馬場 香織

「遊びにいきいたい！」「どこに？」「畑！！」じいちゃんと過ごした臨時休校中に目覚めた息子の渋い
趣味 南会津町立田島小学校保護者 菊地 あゆ美

「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組

◎毎日の健康観察

- ・発熱や風邪症状の有無の確認。
- ・発熱等の症状がある場合は、自宅で休養。

◎手洗いの励行

- ・家に帰ったら、まず手や顔を洗う。
- ・手洗いは30秒程度水と石けんでいねいに洗う。

◎咳エチケット

- ・マスクやティッシュなどで口や鼻をおさえる。

◎3密の回避

- ・「密閉」の回避＝こまめな換気。
- ・「密集」の回避＝身体的距離の確保
- ・「密接」の回避＝マスクの着用
- ◎抵抗力を高める
- ・十分な睡眠、適度な運動やバランスのとれた食事を心がける。



【文部科学省初等中等局健康教育・食育課】

令和2年度 三行詩コンクール審査結果 福島県PTA連合会

【小学生の部】

応募総数
189点

令和2年度 三行詩 「楽しい子育て全国キャンペーン」
～家族で話そう！我が家のルール・家族の絆・命の大切さ～

No.	学年	氏名	学校名	賞	作品
1	小3	橋本 想央	湯本二小	優秀賞 (全国推薦)	お父さんのにおいがすき お母さんのにおいが太すき せんたく物のにおいがすき ごはんのにおいがすき みんなまざった 家のにおいがすき
2	小1	鈴木 悠斗	鹿島小	優秀賞 (全国推薦)	いっぱいおこられるけど おかあさんがにっこりわらって ぎゅっとしてくれるときが ぼくはいちばんうれしい
3	小6	佐藤 駿成	田島第二小	優秀賞 (全国推薦)	只今反抗期 言葉は「うるさい」心は「ごめん」 もう少しだけ 付け合って
4	小5	竹ノ内 葵	須賀川一小	優秀賞 (全国推薦)	生まれてきてくれてありがとう 産んでくれてありがとう ねる前の「愛言葉」
5	小1	小川 愁太	鏡石第一小	優秀賞 (全国推薦)	ママは りょうりの てんさい おとうとは ないてつたえる てんさい ぼくは あそびをかんがえる てんさい パパは かいじゅうやヒーローにもなれるへんしんの てんさい みんな わらう声の 大きさが てんさい
6	小4	馬場 奏多	桜丘小	優良賞	外出自粛 子供はがまんしているのに、大人はどうしてがま んできないの。
7	小5	齋藤 寧々	朝日小	優良賞	顔を見ておはようと言おう 顔を見ておかえりと言おう みんな 顔に書いてある 心配事はもらっておくよ うれしいことは 思い出に 顔は親子のれんらくちょう
8	小2	鹿目 来々	城南小	優良賞	「ちょっとまって」は言っちゃダメ！ 顔を見て、今の話しは、今聞いて。
9	小4	大堀 来桜	駒形小	優良賞	深い深いおこりじわ あさいあさい わらいじわ 母さんもっとわらってよ
10	小4	戸田 絢乃	姥堂小	優良賞	妹がとうとうメガネをかけた ごはんを食べている時に顔を見 合わせると 四人がメガネ ふだんはじゃまでいやだけど 『メガネ家族』って なんだかちょっとわらっちゃう
11	小6	小野 蒼翔	御山小	優良賞	自粛中 家で見つけた 家族時間
12	小1	寺山 桜	喜久田小	優良賞	ママがつくったおはなしを まいにち きいてねる つづきを ゆめで みたいな
13	小6	矢吹 凜	御山小	優良賞	笑顔だと コロナが少し 減りそうだ
14	小6	上野 航葵	城南小	優良賞	腹へった 「ただいま」の次にでる言葉 みんなで夕食囲めば 元気の源
15	小6	齋藤 司京	桜丘小	優良賞	いつもだれかが話してる いつもだれかが歌ってる いつもだ れかが踊ってる あれっ？これってぼくのこと？ぼくの家族は ワイワイにぎやか いつもみんなが笑ってる
16	小5	星 太陽	檜原小	優良賞	世の中三密 家の中では 縮まる距離
17	小5	磐城 瑠南	桜丘小	優良賞	コロナにね、ならないために、わが家では、うがい、手あら い、日光浴です。
18	小6	佐々木 統	御山小	優良賞	コロナから 家族のきずなで 命を守ろう

令和2年度 三行詩コンクール審査結果 福島県PTA連合会

【中学生の部】

応募総数
178点

令和2年度 三行詩 「楽しい子育て全国キャンペーン」
～家族で話そう！我が家のルール・家族の絆・命の大切さ～

No.	学年	氏名	学校名	賞	作品
1	中1	廣野 智仁	荒海中	優秀賞 (全国推薦)	「どうだった？」帰ると必ず聞く言葉 またかと思うがないとさびしい 母と僕との会話のはじまり
2	中1	山内 颯雅	荒海中	優秀賞 (全国推薦)	母が作ったお弁当を楽しみに 今日も1日頑張ろう 感謝の気持ちは空っぽにした弁当箱
3	中2	君島 心希	荒海中	優秀賞 (全国推薦)	おこづかい目的で始めた風呂洗い 100円よりも「ありがとう」のほうがうれしいと気付く
4	中3	御幡 心望	藤間中	優秀賞 (全国推薦)	朝からケンカしてムスッと私は「行って来ます」 重い口調で母が「行ってらっしゃい！」 毎日感じているよ、そっと窓から私の姿を見送る心配症の母。
5	中3	鈴木 聖奈	藤間中	優秀賞 (全国推薦)	プレッシャーに負けた試合 あの日への悔し涙 次は笑顔で 楽しくプレーすればいい 母の言葉に心の中で嬉し涙
6	中1	嶋原 月那	福大附 属中	優良賞	しっかり頑張るお父さん うっかり者のお母さん ちゃっかりかわいい弟 私ははっきり言える大好きと。
7	中2	大和田 陽	大野中	優良賞	ありがとうございますごめんなさい 気持ち伝えるわが家のルール 笑顔たえない家族の秘訣
8	中1	湯田 心菜	田島中	優良賞	後悔するかしないかは気にしない 大事なものはどう乗り越えるかだ それを一緒に考えるのが家族だ
9	中2	広野 七翔	荒海中	優良賞	僕が「いってきます」 母が「行ってらっしゃい」の毎日もうざいと思う でも、安心して登校できる言葉
10	中2	湯田 快也	荒海中	優良賞	ステイホーム 命をつなぐ大事な時間 沢山話せる良い時間
11	中2	渡邊 絢心	平第一 中	優良賞	川の字でいつまでねれる？ 母のぬくもり感じながら 部活のつかれもいやされる
12	中3	小貫 蒼依	会津学 鳳中	優良賞	「行ってらっしゃい、気をつけてね」 この一言は、きっと元気な「ただいま！」につながる 大事な魔法の言葉。
13	中1	昆野 栞	蓬萊中	優良賞	口げんか 謝りたい心の かくれんぼ だけど一緒にいるうちに いつの間にか「ごめんなさい」
14	中1	湯田 紗名	荒海中	優良賞	ぼくは4人兄弟の長男 2年前 弟のへその緒を切った 命の大切さを学んだ日
15	中1	高橋 元陽	蓬萊中	優良賞	テストでね一番なんか取れないよ 一位になるまでキッツケータイ だけどこれも思い出の一部
16	中2	二階堂 藍	吾妻中	優良賞	コロナ対策 車に乗ると 家族みんなで カラオケタイム
17	中3	渡部 太輔	荒海中	優良賞	コロナの渦 今を乗り越える 家族の団欒

令和2年度 三行詩コンクール審査結果 福島県PTA連合会

【一般の部】

応募総数
10点

令和2年度 三行詩 「楽しい子育て全国キャンペーン」
～家族で話そう！我が家のルール・家族の絆・命の大切さ～

No.	部門	氏名	学校名	賞	作品
2	一般	佐藤 陽子	川南小	優秀賞 (全国推薦)	「ただいま」の声でかけよる我が子達。 その笑顔から一日が楽しく幸せだったことがすぐ分かり、ホッと安心。 そして、母のパワー充電すぐ満タン。
1	一般	沼崎 智恵	御山小	優秀賞 (全国推薦)	娘が迎えに思春期に よつやく来たな と冷静になれる目分が いる。 そして空を見上げて思うんだ。” お母さん。あの頃は本当にごめんね” と。 きっと笑っているだろうな 天国の母
6	一般	星 英一郎	田島第二小	優秀賞 (全国推薦)	徒競走 後方走る娘見て あきらめない姿が誇らしい
11	一般	菊地 あゆ	田島小	優秀賞 (全国推薦)	「遊びに行きたい!」「どこに?」「畑!」 じいちゃんと過ごした臨時休校中に目覚めた息子の渋い趣味
7	一般	馬場 香織	明和小	優秀賞 (全国推薦)	怒りすぎて鬼になると 生まれた時の写真を見て クールダウン
10	一般	有馬 毅	稲田小	優良賞	「スティホーム」おかげで増えた家族の時間 「コロナに負けるな!」我が家の合い言葉
5	一般	湯田 慎也	田島第二小	優良賞	親子でキャッチボール 球のは速さにびっくり、 子供たちの成長を感じる、今日この頃
8	一般	佐藤 大輔	桜丘小	優良賞	着替え持ち 毎朝恒例鬼ごっこ 後何年できるかな
9	一般	渡邊 佳子	平第一中	優良賞	にらめっこ まじとみつめる我が子の顔に 成長の証 青春のシンボル
3	一般	関本 美香	永和小	優良賞	自粛中、家族の時間が増えました。 トランプ、絵本の読み聞かせ、 子供たちの笑い声で、パッと明るくなりました。
4	一般	小澤 莉奈 (子どもの名前)	永和小	優良賞	家族って何?” やさしさ” そう答えた貴女、背が小さくて涙を流したあの日・・・。 みんなで笑ってごはんをたべて、次の日にはSmail 明日もがんばろ!!
12	一般	猪俣 芙咲	田島小	優良賞	3つの蜜は 身、口(言葉)、意(心) を守る約束だよ! 三密というよ。

令和2年度 県教育長との懇談・要望活動の概要 （報告案）

1 期 日 令和2年9月1日（火） 13時30分 ～ 14時00分

2 会 場 県庁 西庁舎 9階 教育委員室

3 参加者（敬称略）

◇ 福島県教育委員会

役 職	氏 名	所 属 等
教育長	鈴木 淳 一	教育委員会
政策監	本 田 伸 雄	教育庁
教育次長	鈴木 芳 人	教育庁
庁参事	上 梶 治 男	教育庁
課 長	福 地 裕 之	義務教育課
課 長	佐 藤 文 男	健康教育課
課 長	鈴木 基 之	社会教育課
主 任	関 忠 昭	社会教育課
社教主事	戸井田 修	者会教育課

◇ 福島県PTA連合会

役 職	氏 名	所 属 等
会 長	平 塚 康 晴	郡山市PTA連合会会長 郡山市立赤木小学校PTA副会長
副会長	齋 藤 友 則	福島市小中学校PTA連合会会長 福島市立福島第一中学校PTA会長
副会長	石 井 洋 平	東白川郡PTA連絡協議会会長 鮫川村立鮫川中学校PTA会長
副会長	齋 藤 敏 浩	会津若松市父母と教師の会連合会会長 会津若松市立第二中学校父母と教師の会会長
副会長	大 内 広 行	相馬地方PTA連絡協議会会長 新地町立尚英中学校PTA会長
副会長	宗 像 真 人	いわき市PTA連絡協議会会長 いわき市立中央台南中学校PTA会長
事務局長	大 橋 誠 寿	福島県PTA連合会事務局

◆ 社教との懇談会 14時10分～15時10分

主任社会教育主事 関忠昭

地域と学校の連携・協働担当 太田 徹

社教主事 戸井田 修

社会教育課長 鈴木基之

要望活動後社会教育課との懇談会を実施（テーマ 地域学校協働活動）

1 福島県PTA連合会会長あいさつ

会長の平塚康晴です。郡山市連P会長も務めております。本日は、このような機会を設けていただき、誠にありがとうございます。福島県PTA連合会の5名の副会長と事務局長の7名で訪問させていただきました。

さて、東日本大震災から約9年と9ヶ月が経過しました。そして今年は、コロナ禍により教育の現場でも様々な苦労が絶えません。福島県の子どもたちの心身共に健全な育ちのため、学力の向上のために、これからも関係機関との連携を深め、PTAも力をあわせて子どもたちのために力を注いでまいりたいと思っております。

本日の懇談が福島県の子どもたちにとって少しでも有意義なものとなるようにしていきたいと存じますので、限られた時間ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

2 要望事項の説明 「義務教育の充実・振興について（要望書）」

本会の運営や事業推進につきましては、これまでもご理解・ご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

また、本県児童生徒の健全育成の視点から、何かとご高配を頂いておりますことに、深く敬意を表します。

さて、「東日本大震災」「東京電力福島第一原子力発電所の事故」が本県にもたらした被害と影響は、今だに甚大なものがあります。

さらに、昨年度末からの新型コロナウイルス感染症の感染防止にともなう様々な対応に苦慮する中、県内各小中学校では、県教育委員会の基本理念「“ふくしまの和”で奏でる、こころ豊かなたくましい人づくり」の実現に向け努力を続けておりますが、解決すべき課題は依然多いものと考えております。

このような状況のもと、義務教育の根幹を保障する“義務教育費国庫負担制度”については、義務教育の全国的な水準を確保する観点から、これまで同様堅持するよう政府並びに関係省庁などに強く要請くださいますようお願いいたします。

つきましては、福島県の児童・生徒の安全・安心と義務教育のさらなる充実・振興の観点から、特に次の各項目の実現を図られるよう要望いたします。

要望事項

1 コロナ禍における教育活動のあり方について

コロナ対策と日常の教育活動をどのように両立させているかなど、各市町村や各学校の取り組みについての情報交換の場を設定したり、アフターコロナにおける教育活動の中で予想される課題に対する新たな指針を示したり、また、消毒液などのコロナ感染症防止対策に必要な物品の供給ルートを県単位で確保して市町村に紹介したりする仕組みなどを整えていただき、できるだけ市町村によるコロナ禍における教育活動の取り組みに格差が生じないようにサポートしていただきたい。

次年度も教員による消毒作業は継続するものと思われるので、SSSの配置拡大と勤務日数、勤務時間の拡大と、次年度以降も継続配置できる予算措置を講じていただきたい。

2 少人数教育の継続と教職員の確保について

小学校では、少人数学級の編成基準について小3以上も小1、小2と同じようにしていただきたい。また、少人数学級を選択するかどうかだけではなく、基準となる

人数の設定そのものを自由裁量としてほしいという声もある。それらを踏まえた上で、県の少人数教育のさらなる充実により、学力の向上、いじめ防止、不登校対策などにも効果が期待できるので、少人数教育の継続をお願いしたい。

あわせて、標準法改正を国に働きかけていただき、一学級の児童・生徒数の基準と教職員定数の算定基準の緩和を要望し、教職員を確保することによって、時代の要請に応えられる教育活動が展開できるようにしていただきたい。

教員志願者の減少は、様々な課題を含んでいるものと思われる。福島県の学校で働きたいとアピールできるような対策を保護者と行政と教育現場が一体となって考えていくときである。そのような場と機会をさらに拡大設定していただきたい。その対策を講じることは、講師や補充教員の確保、外部人材の活用などにも結びつくものと確信するので、ぜひ取り組んでいただきたい。

3 スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの継続配置と配置拡大について

不登校やいじめ等、心に不安や悩みを抱える子どもたちへの支援のためにスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの勤務日数と勤務時間の拡大に取り組んでいただきたい。

特に、スクールカウンセラーの勤務日数が増加すれば、中学校区における小学校での活用も活発に行うことができるようになると思われるので、ぜひ、勤務の拡大をお願いしたい。

あわせて、スクールサポートスタッフの継続配置と勤務日数や勤務時間が拡大されれば、結果として教職員が子どもと向き合う時間の確保につながり、教育相談の充実が期待されるので、スクールサポートスタッフの継続配置と勤務日数、勤務時間の拡大を実現していただきたい。

4 要望事項への回答 教育長から回答

1 コロナ禍における教育活動のあり方について

◇ P T A連合会からの要望事項で指摘のとおり、指針等に基づく教育活動の進め方について情報の共有を図ったりして市町村による格差が生じたりしないように配慮していくことは重要である。

◇ 消毒液確保のルートなどは、今後も各市町村との情報交換を密にして取り組んでいきたい。

◇ 春先に一斉休業に入るとき、その後学校が再開されてからもマスクや消毒液をはじめ、必要な備品や物品が確保できない状況が続き大変だった。文科省も心配していたが、児童生徒、保護者、教職員には大変ご迷惑をおかけした。

◇ 春先には市町村での対応がまちまちだったこともあったが、P C R検査体制も整ってきたので、しっかり検査をして感染ルートを追跡して囲い込んで、通常の活動との両立を図ることが肝要になってくる。

◇ ウィズコロナの状況のなかで、児童生徒の学びの継続をどのように維持していくか、現場とともに工夫して取り組んでいきたい。

◇ 県教委では「ふくしまの学校“キラリ” 「学びの保障」応援サイト 」を立ち上げて、県内の参考となる事例をホームページにアップしているので参考にしてほしい。

◇ これからも、現場でなかなか思うようにできないところを何とかバックアップしていきたいと考えている。

2 スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの継続配置と配置拡大について

◇ スクールカウンセラーは全ての中学校に配置され、小学校についても3分の1の学校に配置という状況になっている。

◇ スクールサポートスタッフについては、県内の小・中・高の全校に配置することになっており、今日現在もその作業を進めている。

◇ 春先の学校再開にあたっては、保護者の方々による消毒作業のご協力、誠にありがとうございました。

◇ 県では「教職員多忙化解消アクションプラン」を策定して取り組んでいるが、教職員の多忙化解消策の一つとしてスクールサポートスタッフや部活動指導員の配置などの事業を推し進めている。

◇ スクールサポートスタッフは、学習プリントの印刷、学年・学級事務（集金、備品管理、教材・教具準備、軽微な事務連絡・調整、調査集計・回答書案作成等）などを教員に代わって行い、教員がより児童の指導や教材研究等に注力できる体制の整備を図ることを目的としている。

◇ 中・高には、単独で部活動の指導ができる部活動指導員を配置し、部活動の質的向上や教員の負担軽減を図ることに取り組んでいる。

◇ なお、少人数教育についても、国には要望を強く働きかけている。コロナ禍の中では、距離を取ることで、人数を減らして指導に当たることが重要であるので、少人数指導のための人員と施設設備を確保していくことが、学校教育の安心・安全の確保につながってくることなので、国への要望を続けていく。

6 質疑

福島県教育庁社会教育課との懇談

テーマ 「ふくしまの未来を創る 地域と学校の連携・協働」

14時～15時 教育委員会室

常置委員会の進め方

1 進行・内容等についての説明・・・・・・・・事務局長

2 各委員会

※ 進行は、委員長が行う（委員長が欠席の場合、副委員長）。

3 協議（司会は委員長）

（1）実施事業（行事）の確認・反省等

（2）今後の事業（行事）について

- ・事業の確認
- ・要望（改善策）など

（3）その他

※ 理事会での報告は、委員長または副委員長が行う。

--

◆ 総務委員会

担当副会長 齋藤 敏浩

◎総務委員長 池田 義寛

総務委員 鈴木 康弘

○副委員長 橋本 正義

・ 武藤 成也

◇総務部長 中村 徹

事業項目	事業実施概要
○第1回委員会 ○第1回理事会	○ 7月27日(月) ・ 事業計画確認・検討他 ○ 7月27日(月) ・ 表彰選考……………結果については別紙参照 県P表彰決定、東北P・日本P表彰候補決定 ☆日P 団体表彰 2、個人表彰 4 ☆東北P 団体・個人表彰 12 ☆県P 感謝状、団体・個人表彰 ・ 県への要望活動について
○第2回委員会	○ 10月1日(木) ・ 中間反省 ・ 県への要望書案審議・決定 ・ その他
○要望・懇談	○ 要望・懇談 ・ 要望活動と教育懇談 9月1日(火)午後13時30分 ・ 出席者 福島県教育長、社会教育課長、社会教育課指導主事 会長、副会長、事務局長 7名
○今年度の反省 次年度の計画	○ 3年1月 ・ 今年度の反省と次年度事業計画について・・・書面にて
○国際交流・国内研修事業派遣 ○行政側との情報交換等 (通年) ○その他 本会運営に関する諸問題等について	○ 安達ブロック(安達中?と白沢中?) 中学2年生男女各1名 ・ 3年3月下旬 ・ 訪問先(渡嘉敷) ●実施かどうか不明 ○ 諸委員会・審議会・協議会等への参加 ○ 後援等諸事業への協力 など

◆ 研 修 委 員 会

担当副会長 宗像 真人

◎研修委員長 大河原利久 ○副委員長 松谷恵理子 ◇研修部長 唯木常晴

研修委員 大須賀祐香・大平 泉・土井洋美・佐久間佳代・田代悦子・高橋弘之

事業項目	事業実施概要
○第1回委員会	○ 7月27日(月) ・事業計画確認・検討他
○第28回小中P懇談会	○ 6月30日(火) ・情報交換 ・参加者 ・各郡市P連代表2名(小・中から) ・教師代表(副会長、事務局長理事、各部長) ・母親代表
○第26回郡市P連 母親代表者懇談会	○ 9月25日(金) 場所：郡山市 県農業総合センター ・前半：講話「 講師 ・後半：懇談「 参加者：郡市P連母親代表(小・中各1名の2名参加)
○日P研究大会富山大会 参加協力	○ 8月28日(金)・29日(土) 富山県内 ・参加要請数30名(参加者数 名)
○東北P研究大会会津若 松大会参加協力	○ 9月5日(土)・6日(日) ・参加要請数1,260名(参加者数 名)
○第2回委員会	○ 10月1日(木) ・中間反省 ・その他
○今年度の反省 次年度の計画	○ 3年1月 ・今年度の反省と次年度事業計画について・・・書面にて ○第69回福島県PTA研究大会会福島大会の進捗状況
○各郡市P連研究大会開 催支援	○ 終了後、各地区大会要項等1部を県連P事務局に提出
○その他	○ 関係機関・団体への協力

◆ 調 査 広 報 委 員 会

担当副会長 大内 広行

◎調査広報委員長 斎藤 直人 ○副委員長 東海林和宏 ◇調査広報部長 菅野 智

調査広報委員 上遠野 芳勝・高橋 健一・反畑 増生

事 業 項 目	事 業 実 施 概 要
○第1回委員会 ○会報発行 別紙発行計画も参照	○ 7月27日(月) ・事業計画確認・検討他 ○ 県P連会報発行 112号・113号・114号 ・発行時期と部数 ・7月(112号)ー全会員(市町村P連事務局宛て送付) ・12月(113号)・2月(114号)ー各単P6部(郡市P連事務局宛送付)※ 各号とも、ホームページにアップ ・主な内容例 (112号)・新年度の役員組織・会長あいさつ ・PTA広報紙コンクール審査結果報告 ・国際交流・国内研修事業参加報告・その他 (113号)・表彰受賞者紹介・日P富山大会報告 ・母親懇談会等報告・東北P会津大会報告 ・その他 (114号)・県P特色あるPTA・地区だより ・子ども災害事故防止コンクール ・アンケート等があれば特集として・その他
○第2回委員会	○ 10月1日(木) ・会報112号の反省 ・会報113号の計画 ・その他
○今年度の反省 次年度の計画	○ 2年1月 ・今年度の反省と次年度事業計画について・・・書面にて ・第114号について ※3月中学校の卒業式前に配付できるように進める。
○県PTA新聞コンクール ○調査・研究 ○日P広報紙コンクール 応募 ○要覧発行 ○その他	○ 第56回PTA新聞コンクール(民友新聞社との共催) ・対 象 PTA広報紙 ・募集期間 令和2年11月から 翌年4月上旬まで ・審 査 日 平成3年4月下旬 ○ 日P等調査協力 ・メディア関する意識調査(小→原町三小 中→松二中) ・実践事例集掲載事例提供 今年度から日Pに提出なし ○ 日本P主催広報紙コンクールに推薦(県コンクール入賞校から推薦する。ただし、年2回以上発行) <u>1回でも可とす</u> ○ 7月発行(事務局)→ ホームページに掲載 ・印刷配布の対象は、 理事会、小中別懇談会、母代懇談会の参加者に配布

◆ 健全育成委員会

担当副会長 齋藤 友則

◎健全育成委員長 大河内 威 ○副委員長 安部 和幸 ◇庶務部長 高橋 正浩
健全育成委員 大堀 邦征 ・ 湯田 千賀子 ・ 早川 良一

事業項目	事業実施概要
○第1回委員会 ○第27回小中別懇談会	○ 7月27日(月) ・ 事業計画確認・検討他 ○ 6月30日(火) 懇談テーマ ①9年を経過しての各単P、郡市P連の状況の変化について ②子どもたちを取りまくスマホやSNS等についての現状や課題について ・ 各郡市P連代表2名(小・中から) ・ 教師代表(副会長、事務局長理事、各部長) ・ 母親代表
○第2回委員会	○ 10月1日(木) ・ 小中学校懇談会の反省 ・ アンケートの実施について ・ 健全育成に関する緊急の課題
○提言の実施	○ 提言内容の検討・実施
○今年度の反省 次年度の計画	○ 3年1月 ・ 今年度の反省と次年度事業計画について・・・書面にて ・ 提言内容の検討・広報紙掲載依頼
○事故防止対策 ○優良図書推薦 ○その他	○ 事故防止意識の高揚 ・ 習字、ポスター展のバックアップ ○ 他機関・団体との連携・協力 ・ 県青少年育成県民会議、県交通対策協議会、その他各種委員会等への積極的協力 ・ 他機関・団体の青少年健全育成事業の後援など。 ○ 県P連推薦図書の選定と購読斡旋

◆ 安全互助委員会

担当副会長 石井 洋平

◎安全互助委員長 相田 知津子 ○副委員長 加瀬 元三郎 ◇会計部長 小松 浩行

安全互助委員 小玉 昭男・丹 孝平・羽田 陽子・酒井香代子

事業項目	事業実施概要										
○第1回委員会	○ 7月27日(月) ・事業計画確認・検討他 ・安全互助会加入状況 ・ 傷害、賠償補償制度 ・学校・PTA活動支援補償制度 ・会費の口座引落としシステム利用促進										
○第2回委員会	○ 10月1日(木) ・安全互助会加入状況(第1回委員会以降)と課題 ・傷害、賠償 ・ 支援補償 ・ 弔慰金支払い状況 ・ その他										
○今年度の反省 次年度の計画	○ 3年1月 ・今年度の反省と次年度事業計画について・・・書面にて										
<table border="1"> <tr> <th></th><th>申込みの流れ及び留意点</th></tr> <tr> <td>入会案内</td><td>①12月中旬に入会一次案内を発送(メールで郡市P連経由→各単P) ②1月中旬頃に各単Pに発送予定(郵送)</td></tr> <tr> <td>申し込み</td><td>令和3年3月 日()まで申し込みを受けつける ・4月1日付で契約、補償開始その後の変更は、5月 日まで報告 ・4月上旬に会員証、手続用紙を各校、園に送付</td></tr> <tr> <td>会費納入</td><td>5月末日まで(会費納入をもって4月1日より補償が開始される)</td></tr> <tr> <td>補償期間</td><td>令和3年4月1日～翌年4月1日</td></tr> </table>			申込みの流れ及び留意点	入会案内	①12月中旬に入会一次案内を発送(メールで郡市P連経由→各単P) ②1月中旬頃に各単Pに発送予定(郵送)	申し込み	令和3年3月 日()まで申し込みを受けつける ・4月1日付で契約、補償開始その後の変更は、5月 日まで報告 ・4月上旬に会員証、手続用紙を各校、園に送付	会費納入	5月末日まで(会費納入をもって4月1日より補償が開始される)	補償期間	令和3年4月1日～翌年4月1日
	申込みの流れ及び留意点										
入会案内	①12月中旬に入会一次案内を発送(メールで郡市P連経由→各単P) ②1月中旬頃に各単Pに発送予定(郵送)										
申し込み	令和3年3月 日()まで申し込みを受けつける ・4月1日付で契約、補償開始その後の変更は、5月 日まで報告 ・4月上旬に会員証、手続用紙を各校、園に送付										
会費納入	5月末日まで(会費納入をもって4月1日より補償が開始される)										
補償期間	令和3年4月1日～翌年4月1日										
○安全互助会加入促進	○ 会議・会報などによるPR ・「傷害補償」Ⅰ、Ⅳコースへの加入促進 ・「学校・PTA活動支援補償制度」の加入促進										
○弔慰金給付	○ 学童の事故死亡者に弔慰金給付 1人1万円										
○第44回子どもの災害 事故防止習字・ポスター コンクール	○ 事故防止意識の向上策として実施 ○ 子どもの災害事故防止習字・ポスター募集 ・募集 令和3年1月8日～2年1月21日(木) ・審査 令和3年2月9日(火)・10日(水) ・優秀作品展示 令和3年2月20日(土)～3月7日(日) ・展示会場 県青少年会館2階ロビー										
○事業報告書の編集・発行	○ 1年間のまとめの報告書 令和2年3月発行予定。										
○加入手続き促進	○ 次年度の加入勧誘 ・年度内に加入のお奨め(仮)等文書を配布 ・各校・園へチラシ直送(3年1月20日頃) ・各市町村教育委員会の協力をいただいて										
○その他	○ 損害賠償、傷害事故に関わる情報提供に努める。 ・会報等の活用										

「令和2年7月豪雨災害義援金」 入金管理簿 2020.10.14現在

月 日	項目	適 用	収入金額		支払金額		差引残高
1	R2.8.5	義援金	佐原小PTA	3,000	1		3,000
2	R2.8.6	義援金	双葉郡小中学校PTA連合会	30,000	2		33,000
3	R2.8.18	義援金	相馬市立飯豊小学校	15,000	3		48,000
4	R2.8.26	義援金	福島市立大森小学校PTA	16,550	4		64,550
5	R2.8.27	義援金	福島市立荒井小PTA	20,000	5		84,550
6	R2.9.3	義援金	勿来第一小学校PTA	15,000	6		99,550
7	R2.9.4	義援金	喜多方市立高郷中学校	5,000	7		104,550
8	R2.9.7	義援金	長沼東小学校PTA	2,773	8-1		107,323
9	R2.9.7	義援金	南会津町立南会津中学校	1,851	8-2		109,174
10	R2.9.8	義援金	加納小学校PTA	5,000	9-1		114,174
11	R2.9.8	義援金	県北中学校PTA	10,000	9-2		124,174
12	R2.9.10	義援金	福島市立佐倉小学校	1,447	10		125,621
13	R2.9.11	義援金	福島市立平田小学校	10,000	11-1		135,621
14	R2.9.11	義援金	福島市立大鳥中学校PTA	18,575	11-2		154,196
15	R2.9.15	義援金	若松6中 PTA	9,230	12		163,426
16	R2.9.16	義援金	福島市立清水小学校PTA	29,128	13-1		192,554
17	R2.9.16	義援金	庭塚小学校	34,797	13-2		227,351
18	R2.9.17	義援金	相馬市立山上小学校PTA	10,000	14		237,351
19	R2.9.18	義援金	郡山市PTA連合会	50,000	15		287,351
20	R2.9.19	義援金	下郷町立旭田小学校	8,949	16-1		296,300
21	R2.9.24	義援金	福島県福島市立西根中学校	5,350	16-2		301,650
22	R2.9.28	義援金	喜多方市駒形小学校	5,285	17		306,935
23	R2.9.29	義援金	福島県二本松市立旭小学校PTA	6,714	18		313,649
24	R2.10.1	義援金	会津若松市立北会津中学校	10,000	19		323,649
25	R2.10.2	義援金	原瀬小学校PTA	12,500	20-1		336,149
26	R2.10.2	義援金	喜多方市立熊倉小学校PTA	17,758	20-2		353,907
27	R2.10.2	義援金	湊中学校父母と教師の会	19,980	20-3		373,887
28	R2.10.5	義援金	安達地方PTA連合会	29,848	21-1		403,735
29	R2.10.5	義援金	金山小学校	4,638	21-2		408,373
30	R2.10.6	義援金	猪苗代町立千里小学校PTA	12,732	22		421,105
31	R2.10.7	義援金	いわき市立泉小学校PTA	20,000	23		441,105
32	R2.10.13	義援金	福島市第三小学校父母と教師の会	20,000	24		461,105
33	R2.10.14	義援金	いわき市立中央台東小学校PTA	26,400	25		487,505

送金先は「山形県・福岡県・佐賀県・熊本県・大分県・鹿児島県・長野県・岐阜県・島根県」のいずれか又は複数県に按分 →12月17日役員会で決定して送金 →郡市P連事務局経由で報告、御礼

		合 計	487,505		0	487,505
--	--	-----	---------	--	---	---------

第2回理事会協議資料 令和2年度福島県PTA連合会中間決算報告(案)

1	収入総額	22,545,958 円	注1 会費を児童生徒数1人あたり15円返金した中間決算
2	支出総額	22,404,192 円	注2 今後支出される固定費等を支出合計に含めた決算案
3	差引残額	141,766 円	注3 各地区研究大会補助金(上限7万)の取扱いは別紙参照

科目	本年度予算額	中間決算額	今後の見込み	増減	備考
I 収入の部 2020.10.13現在					
1 会費収入	9,310,000	9,349,550	0	39,550	70円×133,565名
2 事業収入	12,958,772	12,636,803	300,000	△ 21,969	
(1) 安全互助会運営費	7,349,689	7,324,291	0	△ 25,398	運営費
(2) " 事務手数料	5,309,083	5,312,512	0	3,429	事務手数料
(3) その他の収入	300,000	0	300,000	0	広告料
3 積立金から充当	0	0	0	0	
4 雑収入	100	111	100	111	預金利息
当期収入合計	22,268,872	21,986,464	300,100	17,692	
前年度繰越金	259,394	259,394		0	
収入合計	22,528,266	22,245,858	300,100	17,692	
II 支出の部 2020.10.13現在					
1 事務費	3,723,000	1,982,393	1,706,504	△ 34,103	
(1) 通信費	960,000	258,963	724,327	23,290	電話料、郵券、送料、タブレット通信費、HPデザイン更新、サイボウズ導入
(2) 消耗品費	580,000	517,275	160,000	97,275	用紙類、事務用品、印刷機リース代、コピー機レンタル料
(3) 備品費	800,000	634,632	60,000	△ 105,368	パソコン更新、プロジェクター、タブレット
(4) 印刷費	350,000	26,955	250,000	△ 73,045	封筒、安全互助会報告書、役員名刺
(5) 旅費交通費	80,000	43,745	60,000	23,745	事務連絡交通費、通勤手当
(6) 賃借料	483,000	313,369	169,631	0	事務室賃借料(36,300円×12)、電気料金
(7) 諸費	470,000	187,454	282,546	0	振込手数料、会計顧問料、傷害保険料
2 人件費	7,358,500	2,804,455	4,082,500	△ 471,545	
(1) 給料手当	6,312,500	2,420,000	3,532,500	△ 360,000	事務局職員給与(3名)
(2) 福利厚生費	1,046,000	384,455	550,000	△ 111,545	社会保険料・厚生年金保険料等
3 会議費	3,060,000	942,625	1,196,000	△ 921,375	
(1) 評議員会費	800,000	301,117	370,000	△ 128,883	旅費、会議費2回
(2) 役員会費	860,000	375,507	300,000	△ 184,493	役員会4回・役員総務合同会1回・事務局会2回・特別委員会
(3) 理事会費	900,000	202,351	360,000	△ 337,649	理事会2回
(4) 監査会費	40,000	23,695	6,000	△ 10,305	元年度会計監査会、会計事務局会
(5) 日P・東北P会議費	460,000	39,955	160,000	△ 260,045	日P総会・協議会・懇談会、東北P会議4回
4 事業費	3,605,000	1,967,168	1,026,232	△ 611,600	
(1) 研究大会費	1,260,000	1,190,000	70,000	0	地区研究大会臨時積立金十西白へ2年度分交付金
(2) 委員会活動費	1,025,000	667,548	270,000	△ 87,452	会報3回発行、広報紙コンクール審査会、各委員会活動費
(3) 研修事業費	500,000	0	170,000	△ 330,000	母親懇談会、日P・東北P研究大会参加費、国内交流事業派遣
(4) 表彰事業費	510,000	53,768	456,232	0	県P会長表彰、三行詩表彰、習字ポスターコンクール表彰
(5) 渉外活動費	280,000	55,852	60,000	△ 164,148	教育長懇談会、健全育成大会、他団体会議旅費
(6) 弔慰事業費	30,000	0	0	△ 30,000	児童・生徒傷害死亡弔慰金
5 会費返戻金	0	2,003,475	0	2,003,475	
6 負担金	1,405,000	75,000	667,825	△ 662,175	日P(5円×児童数)東北P6.5万円、北方領土5千円、県献血5千円
7 積立繰入金	2,000,000	3,200,000	0	1,200,000	研究大会積立300万円、周年行事積立20万円
8 退職引当金	70,000	0	70,000	0	
9 租税公課	680,000	15	680,000	15	県民・市民税、消費税
10 予備費	626,766	0	0	△ 626,766	
当期支出合計	22,528,266	12,975,131	9,429,061	△ 124,074	

(案)

2 県 P 連 第 4 0 号
令和 2 年 1 0 月 2 2 日

福島県 P T A 連合会
各郡市 P 連会長 様
// 事務局長 様

福島県 P T A 連合会会長 平塚 康晴
(公印省略)

福島県 P T A 連合会会費（令和 2 年度会費）の一部返金について（通知）

令和 2 年 1 0 月 2 0 日に開催された第 2 回理事会において、コロナ禍に伴う活動減により、今年度の会費（児童生徒一人あたり 7 0 円）の一部を返金することが決定いたしました。

つきましては、下記により返金事務を執り行いますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

記

1 返金の根拠

- (1) コロナ禍により県 P T A 連合会の活動が減少したことにより、執行残額が多額になることが見込まれるため。
- (2) 日本 P T A 全国協議会の令和 2 年度負担金が、コロナ禍のため、1 人あたり 1 0 円から 5 円に減額されたため。

2 返 金 額

児童生徒一人あたり 1 5 円

※一括返金の合計金額は別紙一覧表を参照

3 返金期日

令和 2 年 1 1 月 1 0 日（火）から 1 2 日（木）までの 3 日間で処理完了

4 返 金 先

各郡市 P 連事務局指定の口座に一括で振り込み

※別紙報告用紙で 1 0 月 2 9 日（木）までに報告をお願いします。

5 そ の 他

- (1) 資料 1 を各単 P に配布してご説明をお願いいたします。
- (2) 各単 P と協議の上、それぞれの郡市 P 連の実情に応じた適切な処理をお願いいたします。



福島県 P T A 連合会

事務担当 福島県 P T A 連合会（福島県 P T A 安全互助会）
事務局長 大橋 誠寿
〒960-8153 福島市黒岩字田部屋53-5
電話 024-545-5982 F A X 024-545-5990
E-mail office@fukushimaken-pta.jp

(資料1)

(案)

2 県 P 連 第 4 0 _ 2 号
令和 2 年 1 0 月 2 2 日

福島県 P T A 連合会
各単 P 会長 様
学 校 長 様

福島県 P T A 連合会会長 平塚 康晴
(公印省略)

福島県 P T A 連合会会費 (令和 2 年度会費) の一部返金について (通知)

令和 2 年 1 0 月 2 0 日に開催された第 2 回理事会において、コロナ禍に伴う活動減により、今年度の会費の一部を返金することが決定いたしました。

今年度の会費 (児童生徒一人あたり 7 0 円) については、各郡市 P 連事務局でとりまとめ、7 月末日までに県 P T A 連合会に一括で納入いただいているところです。

つきましては、会費の一部返金にあっても、各郡市 P 連事務局に一括返金という方法で返金の事務作業を進めさせていただきますことについて、ご了承くださいますようお願いいたします。

記

- 1 返金額 児童生徒一人あたり 1 5 円
- 2 返金期日 1 1 月 1 0 日 (火) ~ 1 1 月 1 2 日 (木) の 3 日間
各郡市 P 連事務局が指定する口座への一括振込



福島県 P T A 連合会

事務担当 福島県 P T A 連合会 (福島県 P T A 安全互助会)
事務局長 大橋 誠寿
〒960-8153 福島市黒岩字田部屋53-5
電話 024-545-5982 F A X 024-545-5990
E-mail office@fukushimaken-pta.jp

(報告用紙)

(案)

事 務 連 絡
令和2年10月22日

各郡市P連会長 様
// 事務局長 様

福島県PTA連合会会長
(公印省略)

会費の一部返金に伴う振込口座の報告について(依頼)

このことについて、各郡市P連の振込口座の確認をしたいので、報告をよろしくお願いいたします。

地区研究大会の補助金振込先の報告をいただいております郡市P連事務局にあっても、正確を期すため、下記「振込口座報告書」で改めてご報告をお願いいたします。

記

◇報告事項とその留意点

- 1 名 義 ※ 郡市P連名だけなのか、会長名が入るのか。
- 2 金融機関名
- 3 支 店 名 ※ 支店名、店番号等も記載ください。
- 4 口座種別 ※ 普通 または 当座(当座は、ないかと思われますが)
- 5 口座番号

◇報告方法 下記に必要事項を記入して、この用紙のままFAXしてください(送信票なし)

報告締め切り

令和2年10月29日(木)

県P事務局のファックス番号(024)545-5990

「令和2年度会費の一部返金」 振込口座報告書	
2020年10月 日	
郡市P連名	
報告担当者	所属校
	職・氏名
名 義	
金融機関名	
支 店 名	
口座種別	
口座番号	
備 考	

※ 報告締め切り 2020年10月29日(木)

県P事務局FAX番号(024)545-5990

(別紙一覧表)

「コロナ禍による活動削減・日P会費5円減額」に伴う 福島県PTA連合会会費の一部返金措置 返金額一覧

2020.10.20理事会資料

地区	在籍児童・生徒数 (事務局から報告のあった振り分けで 区分しているのに、義務教育学校の区 分が事実と一致していません)				人数 (在籍数)	会費 納入額 児童・生徒 一人あたり 70円	返金額 児童・生徒 一人あたり 15円	備考
	小学生	中学生	特別支 援	義務教 育学校				
福島	12,840	7,043	170		20,053	1,403,710	300,795	
川俣	422	274			696	48,720	10,440	
伊達	3,367	1,878			5,245	367,150	78,675	
安達	4,540	2,533			7,073	495,110	106,095	
郡山	16,205	8,588			24,793	1,735,510	371,895	
岩瀬	4,994	2,568			7,562	529,340	113,430	
石川	1,869	946			2,815	197,050	42,225	
田村	2,841	1,463			4,304	301,280	64,560	
西白河	5,720	2,922			8,642	604,940	129,630	
東白川	1,527	768			2,295	160,650	34,425	
若松	5,788	3,227			9,015	631,050	135,225	
北会津	784	375			1,159	81,130	17,385	
耶麻	2,509	1,224			3,733	261,310	55,995	
両沼	1,924	1,049			2,973	208,110	44,595	
南会津	1,003	556			1,559	109,130	23,385	
双葉	400	173			573	40,110	8,595	
相馬	4,283	2,361		65	6,709	469,630	100,635	
いわき	15,826	8,540			24,366	1,705,620	365,490	
合 計	86,842	46,488	170	65	133,565	9,349,550	2,003,475	

※ 上記の金額を郡市P連事務局から報告のあった口座に一括で振り込みますので、口座情報の報告をお願いします。

※ 県P事務局から各郡市P連の口座への振込みは、11月10日(火)から12日(木)までの3日間で行います。

(案)

2 県 P 連 第 4 1 号
令和 2 年 1 0 月 2 2 日

福島県 P T A 連合会
各郡市 P 連会長 様
// 事務局長 様

福島県 P T A 連合会会長 平塚 康晴
(公印省略)

令和 2 年度研究大会補助金の臨時期間限定積み立てについて (通知)

令和 2 年 1 0 月 2 0 日に開催された第 2 回理事会において、コロナ禍に伴う臨時的措置として、地区研究大会補助金 (上限 7 万円) の取り扱いについて、下記のとおり確認されましたのでお知らせいたします。

つきましては、各郡市 P 連における年度替わりの役員及び事務局の引き継ぎにあたり、十分な確認を行っていただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 「令和 2 年度研究大会補助金の臨時期間限定積み立て」の趣旨
 - (1) コロナ禍により各郡市 P 連単位の地区研究大会が実施できなかったことにより、1 2 6 万の予算が残となる見込みである。
 - (2) 県 P T A 連合会の活動の重要な柱である研究活動に使用する予算なので、他の項目への流用は避け、本来の目的どおり、研修活動のために活用すべきである。
- 2 「令和 2 年度研究大会補助金の臨時期間限定積み立て」の具体的方法
 - (1) 令和 3 年度については、今年度分の補助金 7 万円と次年度分 (令和 3 年度) の補助金 7 万円を合算して 1 4 万円を上限に請求 (交付) できるようにする。
この場合、令和 4 年度は、通常の 7 万円上限に戻る。
 - (2) 令和 3 年度研究大会経費が、1 4 万円未満の場合は、令和 4 年度に繰り越して請求できる。(令和 3 年度と令和 4 年度の合計が上限 2 1 万円となる)
 - (3) 県 P の決算書では、「臨時期間限定積み立て」への支出扱いとして、2 年間通常の 7 万円 (合計 1 2 6 万円) とは別に管理して交付する。
 - (4) 令和 2 年度の 1 0 月 2 0 日以降に、研究大会を実施した郡市 P 連への補助金交付は、通常どおりの取り扱いとする。
- 3 その他
 - (1) 研究大会の運営に必要な備品の購入なども考慮していただき、可能な限り令和 2 年度分を令和 3 年度で請求くださいますようお願いいたします。



福島県 P T A 連合会

事務担当 福島県 P T A 連合会 (福島県 P T A 安全互助会)
事務局長 大橋 誠寿
〒960-8153 福島市黒岩字田部屋 53-5
電話 024-545-5982 F A X 024-545-5990
E-mail office@fukushimaken-pta.jp

福島県PTA連合会「特別委員会」・「記念事業実行委員会設立準備」
各作業部会（ワーキングチーム）委 員 一 覧（委嘱状） 2020.08～

		特別委員会（ワーキンググループ・作業部会）		記念事業実行委員会準備委員会	
	ホームページ	規約改正	総合補償保険	記念誌	式典・祝賀会
担当副会長	宗像副会長	大内副会長	石井副会長	齋藤（友）副会長	齋藤（敏）副会長
専門委員長	大河内健全育成委員長 （松一中）	大河原研修委員長 （清風中）	相田安全互助委員長 （田島小）	齋藤広報委員長 （県北中）	池田総務委員長 （川俣小）
理事・有識者等	武藤成也理事（若松二中）			※アドバイザー 元県P事務局長 古内 利勝 前県P事務局長 佐藤 秀雄	
	養護教諭代表 （穴戸県部会長・松陽中）				
	郡市P連事務局庶務代表 （県北中野口教頭）				
各部長	唯木研修部長 （水原小）	中村総務部長 （蓬萊中）	小松会計部長 （富田小）	菅野広報部長 （平石小）	高橋庶務部長 （御山小）
主な検討内容	トップ画面の構成、デザイン	規約の全体的な見直し			
	基本メニュー構成	総会（評議員会）の見直し	総合補償保険の制度の検討	ページ構成	式典・祝賀会の計画、運営
	継続的な資料の累積	諸会議と役員の再検討	募集による混乱の防止策	記事の依頼	
	HP運用規定の策定	役員選考等諸規定の整備	安全互助会補償との違い	編集作業	
	掲載する資料、データの範囲 ダウンロードのPW管理 その他	その他	その他		
10月20日理事会報告					
※参考 第1作業部会	8月18日（火） 2研 13:30～	9月8日（火） 6研 10:00～	8月19日（水） 小研修室 13:30～	9月16日（水） 合同開催 青少年会館 6研 13:30～	
第2回					
10月8日（木） 青少年会館 6研 13:30～		11月18日（水） 青少年会館 6研 10:00		9月8日（火） 小研修室 13:30～	11／4 見積もりの依頼説明会 実行委員会終了後 11月4日（水） から周年事業実行委員会へ移行
第3回					
月 日（ ） ～ 青少年会館		月 日（ ） ～ 青少年会館		9月29日（火） 3研修室 13:30～	

〈手交用封筒・原寸大見本〉

重要

PTA会員の皆様へ

お子さまの24時間を補償する制度を新たに導入しました。

【令和3年度】

ふくしまっ子 こども総合補償制度のご案内

～学校内外を問わず大切なお子さまの毎日をお守りします～

「ふくしまっ子 こども総合補償制度」は、福島県PTA安全互助会補償制度とは別に個人で任意にご加入いただける保険です。

こんなときに保険金をお支払いします

ケガをした
通院1日目から
補償

ケガをさせた
自動車で歩行者と
衝突した

物をこわした
友達のを
こわした

病気で入院した
日帰り入院から補償
※Aプランのみ

申込締切日

：令和3年3月●日（消印有効）

補償期間

：令和3年4月1日～令和4年4月1日（1年間）

申込方法

：同封の加入依頼書に必要事項をご記入のうえ、返信用封筒にて取扱代理店へご返送ください。（学校では受付できません。）

福島県PTA連合会

お問い合わせ

◆取扱代理店

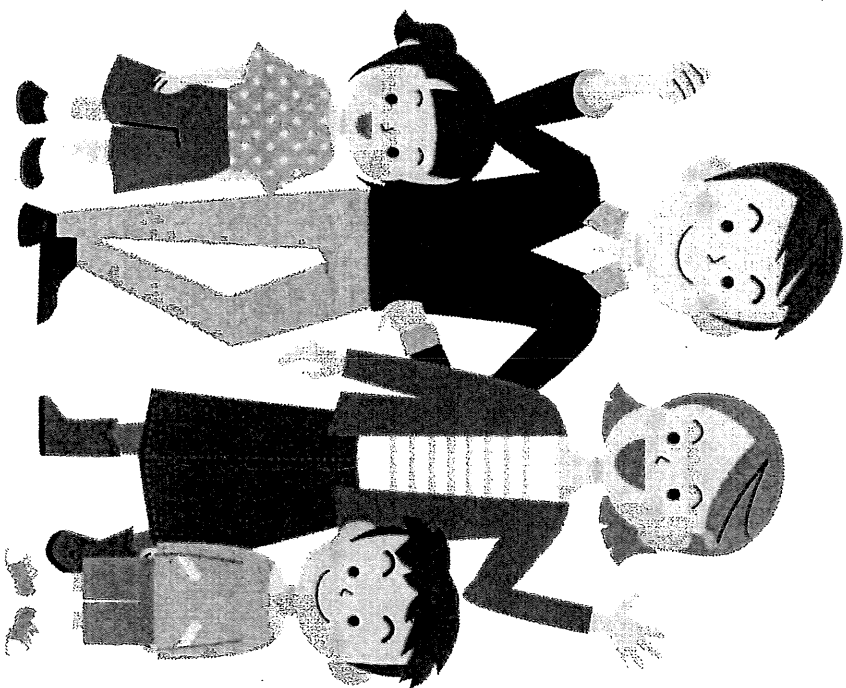
ジェイアールシーセントラル株式会社
福島営業所

電話：000-00-0000

◆引受保険会社

共栄火災海上保険株式会社
東北支店福島支社

電話：024-554-3006



お待たせ

福島県PTA連合会では、令和3年度より新たに「ふくしまっ子 こども総合補償制度」を導入しました。
福島県PTA安全互助会補償制度とは別に希望者が任意に加入する保険です。

お待たせ

ポイント

○個別加入と比べて割安な保険料で補償をご提供します。

○学校内外を問わずお子さまの24時間365日を補償します。

○「特定感染症補償（新型コロナウイルス感染症を含みます）」や「天災補償（地震または噴火およびこれらによる津波）」、病氣入院を伴う「医療補償」、「育英費用補償」等、補償の充実したプランをご用意しました。

○全プランに日常生活個人賠償責任補償特約（示談交渉サービス付）が付帯されています。

お待たせ

詳しくは同封のパンフレットをご覧ください。

10月20日の理事会に提案する70周年記念事業ロードマップ

年 ・ 月		定例会議等	記念事業実行委員会		県大会準備
			記念誌	式典・祝賀会	
令和2年	8	臨時正副会長会（6木）			
	9	要望、懇談会（1火）			第1回実行委員会 10月1日（木）
		三行詩審査会（1火）			
		母代懇談会（25金）			
	10	理事会（20火・会津若松）	実行委員会発足 第1回70周年実行委員会 11月4日（水） 見積り説明会11/4 ページ構成の決定 仕様書の概要を策定 印刷、製本業者決定		一次案内（案）の提示
11	今後の県大会のあり方についての検討と決定				
12	県大会開催可否の最終判断	第2回70周年実行委員会 12/17 編集作業開始・原稿依頼		第2回県大会実行委員会 12月17日（木）	
令和3年	1	役員会（27水）	資料データ入力完成		一次案内発行
	2	習字・ポスター審査、掲示 第2回評議員会（16火）			
	3		記念誌編集作業	共催・後援申請	
	4				
	5				二次案内発行
	6	第1回評議員会 6月4日（金）			
	7	第1回理事会	校正作業		参加申し込み受付
	8	日P全国大会北九州大会			
	9	東北ブロックPTA研究大会 盛岡大会	記念誌納品		
	10	第2回理事会 県大会福島大会・記念式典	記念誌配布		

※資料 PTA連合会創立70周年事業の見通しについて

福島県PTA連合会(2019年6月17日 理事会資料)

発足	1951	S26	福島県PTA連絡協議会の発足
----	------	-----	----------------

10周年	1961	S36	記録なし
------	------	-----	------

1968		第16回日本PTA全国大会福島大会開催
------	--	---------------------

20周年	1971	S46	記録なし
------	------	-----	------

1974		福島県PTA連合会と改称
1974		PTA安全互助会創設
1974		第6回東北PTA研究大会福島大会開催

30周年	1981	S56	式典と 記念誌	創立30周年記念式典 創立30周年記念「30年の歩み」刊行
------	------	-----	------------	----------------------------------

1984	S59	PTA安全互助会創設10周年記念式典
		安全互助会「10年の歩み」刊行

40周年	1991	H3	記念誌	創立40周年記念「40年の歩み」刊行
------	------	----	-----	--------------------

50周年	2001	H13	式典と 記念誌	創立50周年記念式典 創立50周年記念「歩」刊行
------	------	-----	------------	-----------------------------

60周年 震災で中止	2011	H23	記念誌	創立60周年記念「60年の歩み」刊行予定 記念誌のみ発刊計画→大震災・原発事故により中止
---------------	------	-----	-----	---

20年間分のデータ整理となるので、2年前から予告・準備
(各郡市P連にどのような資料作成を求めるかについて)

	2020	創立70周年の周年事業の内容、計画を決定する
--	------	------------------------

◎ 県大会と同時開催が望ましいのではないか

⇒ 「県P70周年の委員会」と「県大会実行委員会」の協力、連携

◎ 震災対応も含め、しっかりと記録を残すべきでないか

⇒ 記念誌編集委員会は2020年早期に組織立ち上げ 活動を開始

70周年	2021	R3	令和3年が創立70周年にあたる(県P研究大会は福島大会の年)
------	------	----	--------------------------------

福島県PTA連合会創立70周年記念事業実行委員会設置要綱

(名称と事務局)

第1条 本会は、福島県PTA連合会(以下「本会」という。)創立70周年記念事業実行委員会(以下「実行委員会」という。)と称し、事務局を県PTA連合会事務局に置く。

(目的)

第2条 実行委員会は、本会創立70周年の節目にあたり、創立以来の歩みを振り返り記録に整理することを中核とする事業を円滑に推進することを目的とする。

(任務)

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するため次の事務と事業を行う。

- (1) 創立70周年記念事業計画の策定
- (2) 「記念誌編纂」及び「記念式典」の具体的な企画立案、実施及びその広報、記録
- (3) 関係団体との連絡調整
- (4) 本会の会長(以下「会長」という)が必要を認めたその他の事務

(構成)

第4条 実行委員会は、本会の役員代表及び第69回福島県PTA研究大会福島大会実行委員会役員代表の委員及び別表1の参与等をもって構成する。

(役員・組織)

第5条 本会に実行委員長を置く。その他の役員は、別表1の定めのとおりとする。全ての役員の選出及び、必要な部会の設置と委員の配置については、会長の専決事項とする。ただし、本会評議員会に報告して承認を得るものとする。

(会議)

第6条 実行委員会の会議は、会長が招集し、実行委員長を議長とする。

(会計と監査)

第7条 事業の経費は、本会の周年行事積立金及びその他の収入をもって充てる。実行委員会の決算は、監事による監査を実施し、評議員会に報告する。

(その他の規程・解散)

第8条 この要綱に定めるもののほか、旅費規程(別表2)等、実行委員会の運営に必要な事項については、会長が別に定める。

実行委員会は、記念事業が完了し、その目的が達成されたときに解散する。残金は、次の周年行事にむけて本会の周年行事積立金として引き続き管理する。

(附則)

- 1 事業計画の策定にあたっては、50周年事業のときのような大がかりな取組は行わず、60周年記念誌の発刊が震災の影響で中止となった経緯も踏まえて、中核事業は20年ぶりとなる記念誌の発刊のみとし、式典や祝賀会の要素は、県大会実行委員会と連携協力して、県大会全体会やレセプションとの関連を考慮して計画を策定することを基本とする。
- 2 この要綱は、令和2年6月5日から施行する。

別表1

福島県PTA連合会創立70周年記念事業実行委員会名簿

参与・アドバイザー			小 林 利 明		歴代会長代表
			菅 田 憲 孝		
			成 澤 勝 蔵		
			古 内 利 勝		// 元事務局長
			佐 藤 秀 雄		// 前事務局長
			佐 藤 秀 美		副会長・県小学校長会会長
			佐 藤 晃		副会長・県中学校長会会長
実行委員会役員	実行委員長（会長）		平 塚 康 晴		全体総括
	副委員長（副会長）		齋 藤 友 則		県大会実行委員長、全体担当
	//		石 井 洋 平		記念誌担当
	//		宗 像 真 人		記念誌担当
	//		大 内 広 行		式典・祝賀会担当
	//		齋 藤 敏 浩		式典・祝賀会担当
実行委員会	記 念 誌 編 纂				記 念 式 典 ・ 祝 賀 会
	相 田 知津子 齋 藤 直 人				池 田 義 寛 大河内 威 大河原 利 久
	平塚 康晴 ・ 齋藤 友則				
	石井 洋平 ・ 宗像 真人				大内 広行 ・ 齋藤 敏浩
	中 村 徹 高 橋 正 浩 唯 木 常 晴 菅 野 智 小 松 浩 行				第69回福島県P T A研究大会 福島大会実行委員会の委員 中村 徹 ・ 高橋 正浩
	事務局	部長	中村 徹 ・ 高橋 正浩 ・ 唯木 常晴 ・ 菅野 智 ・ 小松 浩行		
庶務・会計		大橋 誠寿 羽田 陽子 酒井香代子			

記念誌編纂の基本方針

1 記念誌は2冊構成又は2部構成とする。思い出編と資料編に明確に区別して編集。

(1) 思い出編 カジュアル で ポップ な感じで統一

- ① 歩みを振り返る写真や簡単な年表などをビジュアルにレイアウトする
- ② 「あいさつ」などはなくてもよいのではないか
- ③ 70年前から現在まで、社会の変化とPTA活動の歩みを時系列で対照的に
写真をスライドショー動画に まとめられないか
- ④ 歴代会長の座談会も面白いが、インタビューを動画に残す のも一考

(2) 資料編

- ① 様々なデータを整理して、電子データと紙媒体(冊子)の両方で残す
- ② 沿革誌的な内容を網羅した、記録集の要素だけを1冊にまとめて製本する。
- ③ CD-ROMで見出し、ジャンプ機能をつけて配布
- ④ ネットに掲載して閲覧できるようにしておくことも検討

2 過去の前例の確認 発行部数や配布計画や予算の概算

30周年	1,700部	200万	1冊	1,235円	(福島印刷センター)
40周年	3,000部	135万	1冊	450円	(泉印刷)
50周年	2,000部	399万	1冊	1,995円	(泉印刷)
(60周年 800部、1冊、1,350円泉印刷の見積もり)					

3 70周年記念誌の計画

○事業費全体の総額は290万(積立の総額) 繰り越しもできる

記念誌検討課題

1 予算策定 ○発行部数は ○配布先は

2 震災対応をどのように取り上げていくか

小中の校長会の記録集の提供を仰ぐ

3 昭和59年に「10年の歩み」を発刊し、その後は特に何も整理していない、安全互助会関係の資料を取り上げるかどうか

4 20年分のデータ整理をすることになるので、ついでに、過去データの統一を図る取組みをしてみてもどうか

(1) 名簿や年表の形式を統一

Excelで作成保存、毎年追加していくと自動的に10年分がまとまる。

Excelからワードに変換するのは容易、Wordや一太郎より汎用性、互換性が高い

(2) 会報「PTAふくしま」の電子データ化

過去全ての会報を電子データに読み込んで保存、検索できるようにしていく

4 その他

(1) 11月4日(水) 第1回70周年記念事業実行委員会を開催する

(2) 記念誌作成の発注業者選定の流れ

- ①ワーキンググループで発注仕様書の概要を策定
 - ②5社程度に説明会開催の案内を発送、仕様書を使って説明会を開催
 - ③業者からの提案書と見積もりの提出を求める
 - ④業者から提出された提案書と見積もりを総合評価方式で整理する→WG
 - ⑤最終判定を実行委員会で決定
- ※ 第1回実行委員会開催日 11/4、実行委員会終了後に「説明会」を開催
 ※ 第2回実行委員会 12/17 を予定

記念式典・祝賀会基本方針

2020年8月6日正副会長会での案

- 1 令和3年第2回理事会は、県大会の2週間程度前に開催する。
- 2 例年、県大会実行委員会が県大会前日に開催していたレセプションと70周年記念祝賀会をあわせた形で実施するよう実行委員会に依頼する。
- 3 上記2の記念祝賀会は、県大会全体会・70周年記念式典終了後に開催する案を実行委員会に提案する。
- 4 上記1～3を整理した上で、令和2年第2回理事会で70周年記念始業の全体計画を成立させて、実行委員会を立ち上げて実際の作業に取りかかる。

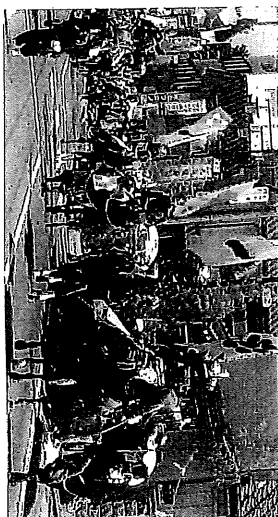
5

☆ 令和3年10月3日(日)の1日のイメージ → 詳細は実行委員会で後日決定する
 900 1300 1530～1600に終了

受付	分科会	昼食移動	全体会 記念式典	記念講演	記念祝賀会 1730か1800
全体会次第のイメージ → 詳細は実行委員会で後日決定 1 開式のことば ◆国歌斉唱やPTAのうた をどうするか 2 会長あいさつ 3 感謝状贈呈 ◆呼名をどうするか 全部読み上げるか否か ○70周年にあたり感謝状を贈呈される者 ・歴代会長代表1名 ・その他の代表1名 ○第69回研究大会開催にあたり感謝状、表彰状を贈呈される者 ・感謝状代表1名 ・団体代表1名 ・個人代表1名 ◆代表謝辞のありなしをどうするか 4 祝辞 知事・議長・教育長 ◆祝辞の範囲、対象者をどう絞り込むか 5 来賓紹介 6 県大会引き継ぎ 福島県PTA連合旗引き継ぎ・次期開催地代表あいさつ 7 閉式のことば					

相馬地方PTA連絡協議会

～児童憲章～
児童は、人間として尊ばれる。
児童は、社会の一員として重んじられる。
児童は、よい環境の中で育てられる。



〈相馬野馬追い〉

1. 現 況 (平成13年度)

会の構成	区分	学 校 数	児童生徒数	単位PTA数	会 員 数
	小 学 校	32	8,004	31	5,841
	中 学 校	13	4,667	12	4,067
	小中合同	0	0	1	30
	そ の 他	1	33	1	32
	計	46	12,704	45	9,970
役 員	会 長	箱 崎 俊 一	事 務 局	局 長	高 倉 胤 尚
	副会長	豊 田 耕 正 泉 勝 明 門 馬 広 毅 高 橋 清	事 務 局	局 員	庶 務 計 草 野 正 徳 会 計 村 田 香 里
事務局所在地 学 校 名	〒975-0013 原町市桜井町一丁目152番地 原町市立原町第二中学校 0244-22-4188 0244-24-2176		備 考	事 務 局 校	
	F T E A X			() 固 定 () ローテーション () その他	
恒 例 の 行 事 ・ 活 動	(1) 常任委員会 (4回) (2) 総 会 (3) 単P会長・校長合同研修会 (4) 郡P大会 (5) 教育予算概要 (6) 監 査 会		刊 行 物	, ,	
年 間 予 算 (一般会計)	総 額	806,100円	補 助 金	総 額	195,000円
	内 訳	負担金 394,382円 繰越金 216,563円 助成金 125,000円 県P補助 70,000円 雑収入 155円	金	内 訳	助成金 125,000円 県P補助 70,000円
そ の 他					

2. 10 年 の 歩 み

- 平成3年度 原町大会 8/17 (土)
 - ・大会主題 「21世紀をになう 心身ともにたくましく 個性豊かな子どもの育成を目指すPTA活動」
 - ・講演 演 題 「もっと素晴らしいPTAにするために」
講師 馬目 佳彦先生 (大黒屋事務取締役)
・全体研究協議会
問題提起 「子供たちに郷土文化と地域社会を育てるにはどうしたらよいか」 (中村一小平PTA) (福浦小PTA) (事務局校 原町三小)
- 平成4年度 小高大会 8/22 (土)
 - ・大会主題 「心豊かで たくましく 自ら考えて主体的に対応できる子どもを育てるためのPTA活動の推進」
 - ・講演 演 題 「家庭や地域の教育力の回復と活性化を図るには」
講師 落合 克美氏 (県教委社会教育主事)
・全体研究協議会
問題提起 「活性化を図るPTA委員会活動」 (草野小平PTA) (原町二小平PTA) (事務局校 原町三小)
- 平成5年度 飯館大会 8/21 (土)
 - ・大会主題 「心豊かなたくましい子どもの育成を目指すPTA活動」
 - ・講演 演 題 「相馬と二宮仕法」
講師 桜井 弘佑氏 (桜井興業KK社長)
・全体研究協議会
問題提起 「好ましい教育環境づくりと健全な子どもを育てるPTA活動」 (新地小平PTA) [本校PTAにおける広報活動] (小高小平PTA) (事務局 原町一中)
- 平成6年度 新地大会 8/20 (土)
 - ・大会主題 「豊かな心をもたたくましく生きる子どもの育成を目指すPTA活動」
 - ・講演 演 題 「やる気を育てる心の教育」
講師 武山 清彦氏 (塩竈市教育長)
・全体研究協議会
問題提起 「本校PTAにおける教養活動」 (向陽中PTA) (飯館中PTA) [会員の意識の改革と活動の活性化を図るためのとりくみ] (飯館小平PTA) (事務局校 飯館中)
- 平成7年度 相馬大会 8/19 (土)
 - ・大会主題 「未来をひらく心豊かでたくましい子どもの育成を目指すPTA活動」
 - ・講演 演 題 「今、子供が見えますか」
講師 佐藤 浩氏 (青い森主幹)
・全体研究協議会
問題提起 「生涯学習社会の現点に立った教養活動」 (鹿島中PTA) [PTA活動の活性化をめざして] (駒ヶ嶺小平PTA) (事務局校 飯館中)
- 平成8年度 鹿島大会 9/7 (土)
 - ・大会主題 「思いやりと広い心をもつ未来を担う子どもを育てるPTA活動を推進しよう」
 - ・講演 演 題 「日本に住んでみて思うこと」
講師 根本アリンソン氏 (元AFPT)
・全体研究協議会
問題提起 「原点に立ったPTA活動を考える」 (大野小平PTA) [剣道ある専門委員会の運営一育成委員会による夏祭りー] (原町三小平PTA) (事務局校 鹿島中)
- 平成9年度 原町大会 9/6 (土)
 - ・大会主題 「思いやりと広い心を持つ未来を担う子どもを育てるPTA活動を創造しよう」
 - ・講演 演 題 「親の心、子供の心」
講師 渡部 純夫氏 (会津大学講師)
・全体研究協議会
問題提起 「親子をつなぐPTA活動」 (小高中PTA) (八沢小平PTA) (事務局校 鹿島中)
- 平成10年度 小高大会 9/5 (土)
 - ・大会主題 「夢あふれる未来社会とするために、子どもとともに新世紀の扉を開けよう」
 - ・講演 演 題 「21世紀の学校はどう変わっていくか」
講師 森田 進雄氏 (福島大学教授)
・全体研究協議会
問題提起 「会員相互の資質を高め合う研修活動のあり方」 (小高中PTA) [学校と家庭の連携を深め、子どもの健全育成を図るPTA活動のあり方] (白石小平PTA) (事務局校 中村一小)
- 平成11年度 飯館大会 10/16 (土)
 - ・大会主題 「夢あふれる未来社会とするために、子どもとともに新世紀の扉を開けよう」
 - ・講演 演 題 「今、語るべき親からのメッセージ」
講師 塚本 繁氏 (福島女子短大教授)
・全体研究協議会
問題提起 「ボランティア活動から学ぶこと」 (福田小平PTA) [親子をつなぐPTA活動] (福浦小平PTA) (事務局校 中村一小)
- 平成12年度 新地大会 8/26 (土)
 - ・大会主題 「夢あふれる未来社会とするために、スウラムを超んで 21世紀の扉を開こう」
 - ・講演 演 題 「清める現代社会と子どもの心 一人へのメッセージー」
講師 星野 仁彦氏 (福島県立医科大学)
・全体研究協議会
問題提起 「地域ぐるみの活力あるPTA活動の推進」 (飯館中PTA) [会員の積極的な参加と活動の活性化を推進する組織運営を工夫しよう] (向陽中PTA) (事務局校 鹿島中)

◇ ○○ＰＴＡ連絡協議会

創立70周年記念誌各郡市P連のページの案

リード文 各郡市P連の創意工夫

写真

	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年 度	令和 2年 度	令和 3年 度
会長																				
事務局長				A4で2ページ見開き						左			A4で2ページ見開き						右	
事務局校																				
基本情報																				
単P数																				
児童生徒数																				
会員数																				
研究会																				
主題																				
開催期日																				
講演会演題																				
講師																				
会場																				
その他の記録																				
それぞれの 郡市P連の 独自項目																				

令和2年度の事務局が
原稿を作成する

詳細は11月4日の70周年実行委員会で
決定し、メールで通知いたします

第69回福島県PTA研究大会 福島大会の概要について

1 主題（仮）

子どもたちにいつでもエールを！！

五感でつながる喜びの輪

2 趣旨

子どもたちを取り巻く環境は、コロナ禍に対応した新しい生活様式、オンライン授業などの急激な学習環境の変化とさらなる情報化社会、さらにはゲリラ豪雨などの突発的な自然災害等、「これまでにないこと」が日常化している状況です。

このような中でも、子どもたちは時代の変化に対応しながら、家庭をはじめ学校や地域で学び、様々な課題を解決しながら成長していかなければなりません。

PTAも同様、子どもたちと一緒に成長しながら変化に対応していくことが求められます。そのためには、保護者同士はもとより、先生方、地域の方々と手を取り合い、皆が上手に「つながる」ことが重要になってきます。

世代間のギャップ、コロナ禍の中での自粛生活、オンラインやバーチャルの進化、自然災害による突然の断絶など、人間同士のつながりが希薄になっていると感ずることがあります。互いの目で物事をじかに見つめ、互いの声に耳を傾け、時代のにおいをとものにきき、同じ時代に生きる喜びを味わい、手と手をじかに取り合って進む。変化の激しい時代だからこそ、そんな五感でつながっていくことが大切であると考えています。

2021年は、東日本大震災からちょうど10年になります。この10年間私たちは、人と人とのつながりの大切さを五感で感じ、苦しいことも、悲しいことも、うれしいことも、楽しいことも皆で味わい、乗り越えてきました。

PTAとしての活動は、70年もの間、先輩のPTAの皆様の思いをつないで行ってきました。改めて人と人とのつながりの価値を感じます。さらに、今年は2020東京オリンピック・パラリンピック開催で世界中の人とのつながりを感じる年となります。

子どもたちと接するすべての大人たちが、五感を働かせ、つながっていくことが子どもたちが安心して先の時代に進む原動力になると思います。

時代がどんなに変化しようとも、私たちPTAは常に子どもたちとともにあり、一緒に成長しながら子どもたちにエールを送り続けたいと考えています。本大会が参加される会員同士が五感を存分に発揮して交流し合い、互いのつながりの大切さを実感し喜びを共有できる機会となることを願っています。

3 重点事項

(1) 楽しい充実した大会

(2) 大会のスリム化

① 1 日開催 ② セレモニー・あいさつ等の短縮

(3) 内容の充実

○ テーマの適切さ ○ 講演内容・人選の適切化 ○ 教師側の参加の積極化

○ 分科会の充実

(発表者の人選のあり方, 討議の持ち方・グループ分けの工夫)

4 開催期日

令和 3 年 1 0 月 3 日 (日)

9:00

13:00

15:30~16:00

受付	分科会	昼食移動	全体会 記念式典	記念講演	記念祝賀会 17:30~ 18:00~
----	-----	------	-------------	------	---------------------------

5 開催規模〈参加要請数〉

6 会場

〈全体会〉

県文化センター

(大ホール、小ホール、視聴覚室、1 F・2 F 会議室、応接室)

・ 仮予約済 2020. 10 月より正式予約開始。

P 4 7 5 台 (※工事の都合で半減の可能性あり)

〈分科会〉

① 市民会館

・ 2021. 4 月より予約開始。

② 県青少年会館

・ 2020. 10 月より予約開始。

③ 福島大学 (L 1, L 2、L 4)

・ 仮予約済 (2020. 7.30) 決定通知はなし。

④ 国体記念体育館

・ 2020. 11 月調整。スポーツ大会優先。P 2 7 0 台。

⑤NCVふくしまアリーナ

- ・避難所になる可能性あり。国体記念体育館と同窓口。P 2 2 0 台。
使用料 1 時間¥1,000

⑥福島県教育会館

- ・12ヶ月前から予約可能。使用料（土日祝・午前）¥17,000（減免・半額）
6 2 6 名収容可能。P 1 0 0 台。

⑦ウィル福島

- ・6ヶ月前から予約可能。使用料 1 時間¥11,700 + 椅子（@ 4 5 × 使用数）
3ヶ月前までキャンセル料¥0

⑧ラコパ福島

- ・6ヶ月前から予約可能。5 F 会議室 A ・ B ・ C 使用料（午前）¥23,620
P 駐車できない。

〈祝賀会〉

グリーンパレス（瑞光の間）

- ・2020. 9.18 予約済 1 7 : 0 0 から
・コロナ対策の人数制限をしても 2 0 0 名まで可の広さを有する部屋

7 記念講演

講師：検討中

第69回福島県PTA研究大会福島大会 準備委員会について

1 準備委員会組織及び活動内容確認（案）

○本部

- ・委員長 福島市連P会長
- ・副委員長 川俣町連P会長 伊達地区連P会長 福島市連P副会長
- ・委員 福島市連P監事 福島市連P常任理事
- 事務局 事務局校長・教頭・教務主任・主査
- 協力員 令和2年度までの連P役員

○各係キャップ

- ①総務係キャップ・・・東部 福島二小
- ②会場接待係キャップ・・・西部 佐原小
- ③受付係キャップ・・・南部 福島一中
- ④案内係キャップ・・・東部 福島三中
- ⑤広報編集係キャップ・・・信陵・飯坂 信陵中
- ⑥分科会運営キャップ・・・北部 野田中

○本部より各分科会担当

- 総務 第1分科会 一戸（西部 監事）
- 会場接待 第2分科会 川俣町連P会長もしくは伊達地区連P会長
- 受付 第3分科会 伊達地区連P会長もしくは川俣町連P会長
- 案内 第4分科会 栗原（東部 副会長）
- 広報編集 第5分科会 八巻（信陵・飯坂 協力員）
- 分科会運営 大須賀（北部 副会長）

2 作業日程について（案）

期 日	会場・事業等	内 容
R 2 9. 10（木）	第1回臨時常任理事会	主題、基本方針、要項案（概要）検討、 準備委員会組織概要確認等
10. 1（木）	第1回準備委員会	大会概要（要項）決定、講師依頼、 準備委員会組織概要確認等 福島大会概要説明、承認を得る
12. 17（木）	第2回準備委員会	実行委員会（4月以降）の見通し確認
R 3 2. （ ）	第2回県連P評議委員会	

県PTA研究大会開催地ローテーションについて

(平成20年10月18日確認)

県PTA研究大会の開催地ローテーションについては、昭和58年3月2日の理事会で申し合わせ事項として承認され、それ以来そのローテーションによって変更無く開催されてきた。

平成の市町村合併による19地区、大会開催について、その見直しが必要なことは確認してきたことであるが、具体的にどうするかは議論されてこなかった。平成の大合併が一段落したこの時期に見直す必要が出てきた。

このこのについて、理事会での議論を重ねた結果、平成20年10月18日開催の「平成20年度 第2回理事会」で次のようにすることが決定された。

記

- 1 7年ごとの「東北ブロック研究大会」の開催地は、
福島市・郡山市・会津若松市・いわき市の4市（会津1，中通り2，浜通1）とし、
「福島市→会津若松市→いわき市→郡山市」のローテーションとする。
 - 2 県研究大会開催地は、県北2、県中南2，会津1，浜2に配分する。
 - ① 福島ブロック （福島市小中P連・川俣町P連協・伊達地区小中P連協）
※ 飯野町が福島市に合併したことに伴い、平成21年度より達南P連は、川俣P連になる。
 - ② 二本松ブロック （安達地方P連）
 - ③ 郡山ブロック （郡山市P連・田村地方P連）
 - ④ 県中南ブロック （岩瀬地区P連・石川郡連P・西白河P連協・東白川郡P連協）
 - ⑤ 会津ブロック （若松市父母教師連・北会津地区連協・耶麻地区小中P連協・両沼地区P連協・南会津郡P連）
※ 平成27年度より大沼郡連父母教師は両沼地区連Pと合併する。
 - ⑥ 相双ブロック （相馬地方P連・双葉郡小中P連）
 - ⑦ いわきブロック （いわき市P連協）の7ブロックとする。
 - 3 7年に一度（東北大会との関わりで必ずしも7年にはなっていない）の割合で、県大会、または東北大会が回ってくることになり、これまでの10年に一度のローテーションよりは早く回ることになると思われるが、ブロック毎のローテーション（安達地方といわき市は単独）なので、そのブロック内で協議し、どのような開催の仕方にするかは、ブロックに任せる。
- 4 今後、市町村合併や学校の統廃合など、状況が変わることは当然予想されることなので、今後の見通しも長期に立てることは難しいと思われる。
状況が変わったり、検討の必要が生じた場合には、その時点で協議し、計画を見直す。
- 5 以上の考えをもとに、とりあえず、平成24年（2012年）、第61回研究大会からのローテーションを別紙の通りとする。

別紙 ◇ 県P研究大会開催地（ローテーションによる開催予定地）

開催年(回数)	開催市	備考	開催年(回数)	開催地	ブロック
平成1年(38回)	相馬市		平成24年(60)	会津若松市	双葉と共催
2年(39回)	白河市		25年(61)	福島市	兼東北大会
3年(40回)	会津若松市		26年(62)	須賀川市	県中南
4年(41回)	福島市	兼東北大会	27年(63)	二本松市	二本松
5年(42回)	原町市		28年(64)	郡山市	郡山
6年(43回)	須賀川市		29年(65)	いわき市	いわき
7年(44回)	二本松市		30年(66)	喜多方市	会津
8年(45回)	郡山市		令和元年(67)	南相馬市・台風被害で中止	
9年(46回)	いわき市		2年(68) 2020	会津若松市・コロナ禍中止	
10年(47回)	喜多方市		3年(69) 2021	福島市	福島
11年(48回)	相馬市	兼東北大会	4年(70) 2022		県中南
12年(49回)	白河市		5年(71) 2023		二本松
13年(50回)	会津若松市	50-記念大会	6年(72) 2024		郡山
14年(51回)	福島市		7年(73) 2025		会津
15年(52回)	原町市		8年(74) 2026		相双
16年(53回)	須賀川市		9年(75) 2027	いわき市	兼東北大会
17年(54回)	二本松市		10年(76) 2028		福島
18年(55回)	郡山市	兼東北大会	11年(77) 2029		県中南
19年(56回)	いわき市		12年(78) 2030		二本松
20年(57回)	喜多方市		13年(79) 2031		いわき
21年(58回)	相馬市		14年(80) 2032		会津
22年(59回)	白河市		15年(81) 2033		相双
23年(60回)	会津若松市	次年度に延期	16年(82) 2034	郡山市	兼東北大会

※ 平成23年3月11日発生の「東日本大震災」のため、23年度予定の「第60回大会」は、次年度に延期し、開催回数が順送りとなる。

※ 令和元年度は、台風19号とその後の大雨災害により直前に中止となる。

※ 令和2年度は、コロナ禍により、東北大会を兼ねての会津大会が中止（全国大会も中止）

ブロック	所 属 連 P
福島	福島市小中P連・川俣町P連協・伊達地区小中P連協
二本松	安達地方P連
郡山	郡山市P連・田村地方P連
県中南	岩瀬地区P連・石川郡連P・西白河P連協・東白川郡P連協
会津	会津若松市父母教師連・北会津地区連協・耶麻地区小中P連協・両沼地区P連協・南会津郡P連
相双	相馬地方P連協・双葉郡小中P連
いわき	いわき市P連協

(資料) 福島県PTA連合会研究大会補助一覧(平成元年以降)

年度			開催地	県教委補助	県P補助	備考
元	1989	38	相馬市	22万	74.4万	
2	1990	39	白河市	22万	75万	
3	1991	40	会津若松市	22万	80万	
4	1992	41	福島市	22万	150万	(兼東北大会)
5	1993	42	原町市	22万	80万	
6	1994	43	須賀川市	22万	80万	
7	1995	44	二本松市	22万	80万	
8	1996	45	郡山市	22万	80万	
9	1997	46	いわき市	22万	80万	
10	1998	47	喜多方市	20万	100万	
11	1999	48	相馬市	20万	100万	(兼東北大会)
12	2000	49	白河市	20万	100万	
13	2001	50	会津若松市	20万	100万	
14	2002	51	福島市	18万	100万	
15	2003	52	原町市	18万	100万	
16	2004	53	須賀川市	18万	100万	
17	2005	54	二本松市	18万	200万	
18	2006	55	郡山市	20万	300万	(兼東北大会)
19	2007	56	いわき市	以降なし	200万	
20	2008	57	喜多方市		200万	1,750,000円返戻
21	2009	58	相馬市		200万	2,000,000円返戻
22	2010	59	白河市		200万	1,150,428円返戻
23	2011	60	会津若松市	震災により延期		
24	2012	60	会津若松市相双(双葉)共催		200万	1,099,596円返戻
25	2013	61	県北	福島市	300万	2,330,000円返戻
26	2014	62	県中南ブロック	須賀川市	100万	391,301円返戻
27	2015	63	二本松ブロック	二本松市	100万	91,479円返戻
28	2016	64	郡山ブロック	郡山市	100万	
29	2017	65	いわきブロック	いわき市	100万	638,752円返戻
30	2018	66	会津ブロック	喜多方市	100万	497,974円返戻
R1	2019	67	相双ブロック	南相馬市	100万	966,820円返戻
2	2020	68	会津ブロック	会津若松市	コロナ禍で中止100万	
3	2021	69	県北ブロック	福島市		
4	2022	70	県中南ブロック			
5	2023	71	二本松ブロック			
6	2024	72	郡山ブロック			
7	2025	73	会津ブロック			
8	2026	74	相双ブロック			
9	2027	75	いわきブロック	いわき市		
10	2028	76	県北ブロック	福島市		

東北・全国

南陽・兵庫

会津・富山

盛岡・北九州

山形・山形

宮城県・広島

青森県・川崎

仙台市・石川

秋田県・奈良

未定

未定

令和2年度【感謝状】受賞者名簿

敬称略

1	成 澤 勝 蔵	前 福島県PTA連合会 会長(会津若松)
2	野 田 誠	前 福島県PTA連合会 副会長(県北・福島)
3	小 林 裕 子	前 福島県PTA連合会 副会長(会津・耶麻)
4	箱 崎 洋 一	前 福島県PTA連合会 副会長(浜・いわき)
5	佐々木 義 通	前 福島県PTA連合会 副会長(福島県小学校長会会長)
6	佐 藤 孝 治	前 福島県PTA連合会 理事・監事(川俣)
7	矢 部 和 秀	前 福島県PTA連合会 理事・監事(岩瀬)
8	別 府 豊	前 福島県PTA連合会 理事・監事(北会津)
9	岡 田 和 人	前 福島県PTA連合会 理事(伊達)
10	佐々木 篤 行	前 福島県PTA連合会 理事(安達)
11	森 隆 義	前 福島県PTA連合会 理事(石川)
12	佐久間 喜 久	前 福島県PTA連合会 理事(田村)
13	菊 池 洋 行	前 福島県PTA連合会 理事(東白川)
14	堀 金 寿 臣	前 福島県PTA連合会 理事(会津若松市)
15	佐 藤 和 也	前 福島県PTA連合会 理事(両沼)
16	小 椋 恵 司	前 福島県PTA連合会 理事(南会津)
17	渡 邊 みゆき	前 福島県PTA連合会 母親代表理事(会津若松)
18	大 泉 きよみ	前 福島県PTA連合会 母親代表理事(いわき)
19	重 巢 吉 美	前 福島県PTA連合会 理事・福島市小中学校PTA連合会事務局長
20	佐 藤 和 典	前 福島県PTA連合会 理事・田村地方PTA連合会事務局長
21	草 野 仁	前 福島県PTA連合会 理事・東白川郡PTA連合協議会事務局長
22	吉 田 英 俊	前 福島県PTA連合会 理事・北会津地区PTA連絡協議会事務局長
23	大 内 雅 之	前 川俣町PTA連絡協議会事務局長
24	大 木 修	前 伊達地区小中学校PTA連絡協議会事務局長
25	佐 原 聡	前 安達地方小中学校PTA連合会事務局長
26	土 屋 光 啓	前 郡山市PTA連合会事務局長
27	熊 田 順一郎	前 岩瀬地区PTA連合会事務局長
28	吉 田 和 夫	前 石川郡連合PTA 事務局長
29	菊 地 裕 二	前 会津若松市父母と教師の会連合会事務局長
30	田 代 新 一	前 耶麻地区小中学校PTA連絡協議会事務局長
31	高 原 昇	前 両沼地区PTA連絡協議会事務局長
32	佐々木 徹	前 双葉郡小中学校PTA連合会事務局長
33	古 川 豊	前 福島県PTA連合会 総務部長
34	芦 野 孝 彦	前 福島県PTA連合会 研修部長
35	角 井 勇 三	前 福島県PTA連合会 会計部長

令和2年度福島県PTA連合会会長表彰【団体】

（福島） 2

福島市立御山小学校父母と教師の会	会長	伊藤	茂雄
福島市立飯野中学校父母と教師の会	会長	齋藤	智之

（伊達） 4

伊達市立伊達小学校PTA	会長	佐藤	強
伊達市立石田小学校PTA	会長	永井	勲
伊達市立月舘学園父母と教師の会	会長	西坂	正
伊達市立保原小学校父母と教師の会	会長	菊池	研

（安達） 5

二本松市立安達中学校PTA	会長	松山	茂樹
二本松市立東和小学校PTA	会長	相馬	学
二本松市立二本松第二中学校PTA	会長	安齋	政喜
本宮市立和田小学校PTA	会長	高橋	正典
本宮市立本宮小学校父母と教師の会	会長	眞島	敦

（郡山） 6

郡山市立薫小学校父母と教師の会	会長	椎根	聡人
郡山市立桃見台小学校父母と教師の会	会長	渡邊	真充
郡山市立片平小学校父母と先生の会	会長	鈴木	秀信
郡山市立御代田小学校父母と教師の会	会長	柳沼	安志
郡山市立西田学園父母と教師の会	会長	岩崎	浩史
郡山市立三和小学校父母と先生の会	会長	岩本	幸久

（岩瀬） 1

須賀川市立第二中学校父母と教師の会	会長	渡部	好三
-------------------	----	----	----

（田村） 3

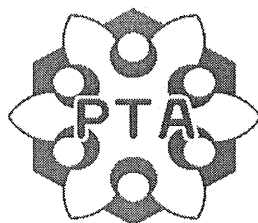
三春町立中郷小学校父母と教師の会	会長	安部	好市
田村市立常葉小学校父母と教師の会	会長	本田	信義
小野町立小野小学校PTA	会長	宗像	喜也

（南会津） 1

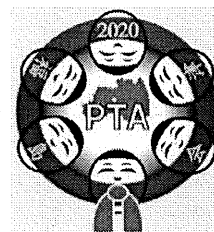
南会津町立伊南小学校父母と教師の会	会長	渡部	英男
-------------------	----	----	----

令和2年度福島県PTA連合会会長表彰【個人】

福島7	譽田 憲孝	元 福島市小中学校PTA連合会会長	東白2	緑川 修一	前 棚倉町立学校PTA連絡協議会会長
	野田 誠	前 福島市小中学校PTA連合会会長		藤田 和成	前 塙町立塙小学校父母と教師の会会長
	齋藤 重徳	前 福島市小中学校PTA連合会副会長			
	斉藤 博	前 福島市立清明小学校父母と先生の会会長		渡部 快枝	元 会津若松市父母と教師の会連合会副会長
	大内 正章	前 福島市立大島中学校PTA会長		皆川 徹雄	前 会津若松市父母と教師の会連合会監査
伊達	松本 敬	元 福島市立飯野中学校父母と教師の会広報委員長	会津若松6	木田 和宏	同上 前 小学校部会副部長
	加藤 直美	前 福島大学附属中学校父母と教師の会会長		日下 七重	同上 前 中学校部会副会長
				秋月 淳子	前 会津若松市立第三中学校PTA副会長
	浦山 昌彦	前 伊達地区PTA連絡協議会副会長		安藤 美幸	前 福島県立会津支援学校PTA会長
安達2	嶋原 勝則	前 安達地方小中学校PTA連合会副会長	北会2	笠間 利一	前 北会津地区PTA連絡協議会副会長
	渡邊 忍	前 安達地方小中学校PTA連合会副会長		穴澤 佳一	前 北会津地区PTA連絡協議会副会長
	澤井 穰次	前 郡山市PTA連合会副会		小椋 真二	前 喜多方市立第一中学校父母と教師の会副会長
	吉川 和夫	前 郡山市PTA連合会副会		佐藤 周	元 北塩原村立裏磐梯小学校父母と教師の会会長
郡山5	堀田 隆	前 郡山市PTA連合会副会	耶麻5	齋藤 勝博	前 喜多方市立第二小学校PTA会長
	飯岡 博幸	前 郡山市PTA連合会監事		高畑 肇	前 喜多方市立熊倉小学校父母と教師の会会長
	橋本 倫典	前 郡山市PTA連合会出納		尾崎 武史	前 喜多方市立駒形小学校父母と教師の会会長
岩瀬3	植田 訓	前 岩瀬地区PTA連合会副会	両沼5	束原 健二	元 昭和村立昭和小・昭和中心PTA副会長
	渡部 好三	前 岩瀬地区PTA連合会副会		二瓶 隆	前 両沼地区PTA連絡協議会副会長
	森 史好	前 岩瀬地区PTA連合会副会		石田 雅彦	前 会津美里町立高田小学校PTA会長
				山垣 睦	前 両沼地区PTA連絡協議会副会長
				鈴木 幸信	前 両沼地区PTA連絡協議会副会長
石川6	鈴木 隆志	前 石川郡PTA連合会副会	南会津3	星 高志	前 南会津郡PTA連合会副会長
	矢部 修	前 石川郡PTA連合会副会		馬場 一禎	前 南会津郡PTA連合会監事
	藁谷 桂章	前 石川郡PTA連合会副会		室井 俊之	前 南会津郡PTA連合会健全育成委員長
	角田 隆	前 石川郡PTA連合会副会			
	佐々木	前 石川郡PTA連合会副会			
田村2	石井 猛	元 田村地方PTA連合会副会長	相馬7	但野 直治	前 相馬地方PTA連絡協議会副会長
	上遠野 尊文	元 田村地方PTA連合会副会長		小林 友樹	前 相馬地方PTA連絡協議会副会長
				堀内 洋伯	前 相馬地方PTA連絡協議会副会長
	嶋村 一志	前 泉崎村立泉崎中学校父母と教師の会会長		鈴木 宣雄	前 相馬地方PTA連絡協議会副会長
	邊見 明	前 西郷村立西郷第二中学校PTA会長		遠藤 雄二	前 相馬地方PTA連絡協議会監事
西白9	櫻井 保文	前 西郷村立西郷第一中学校PTA会長	いわき5	杉岡 睦	前 相馬地方PTA連絡協議会監事
	川堀 正幸	前 白河市立大信中学校PTA会長		永峯 秀桐	前 相馬地方PTA連絡協議会監事
	斎藤 常和	前 矢吹町立矢吹中学校PTA副会長			
	大原 寛和	前 白河市立白河南中学校PTA会長		碓川 秀一	前 いわき市PTA連絡協議会監事
	伊勢 薫子	前 白河市立白河中央中学校PTA会長		堀川 達也	元 いわき市PTA連絡協議会監事
	今井 里志	前 白河市立表郷小学校PTA会長		高玉 光利	前 いわき市立小名浜第二中学校PTA会長
	八城 誠	前 白河市立小田川小学校PTA会長		四家 敦子	前 いわき市PTA連絡協議会副会長
				根本 祐基	前 いわき市立汐見が丘小学校PTA会長



令和2年度東北ブロックPTA協議会 感謝状・表彰状受賞者名簿



■感謝状

杉 山 昌 行	宮城県PTA連合会	前会長
志 賀 猛 彦	仙台市PTA協議会	前会長
成 澤 勝 蔵	福島県PTA連合会	前会長

◆表彰状

《岩手県》 団体

野田村立野田小学校PTA
盛岡市立大慈寺小学校PTA
雫石町立七ツ森小学校PTA
西和賀町立沢内中学校PTA
一関市立大東小学校PTA
遠野市立遠野東中学校PTA

個人	玉 舘 誠	一般社団法人岩手県PTA連合会	前副会長
	藤 澤 暁 宏	一般社団法人岩手県PTA連合会	前副会長
	鎌 倉 公 順	一般社団法人岩手県PTA連合会	前副会長
	今 野 宏 昭	一般社団法人岩手県PTA連合会	前副会長
	三 田 雅 崇	一般社団法人岩手県PTA連合会	前理事
	山 口 正 桂	一般社団法人岩手県PTA連合会	前監事

《山形県》 団体

南陽市立赤湯小学校父母と教師の会
鶴岡市立あさひ小学校PTA

個人	土 田 有 尚	山形県PTA連合会	前理事
	五十嵐 彰 宏	山形県PTA連合会	前理事
	國 井 輝 明	山形県PTA連合会	前理事
	鈴 木 秀 治	山形県PTA連合会	前理事
	川 野 泰 裕	山形県PTA連合会	前理事
	遠 藤 愛	山形県PTA連合会	前理事
	難 波 徹	山形県PTA連合会	前理事
	押 切 崇 寛	山形県PTA連合会	前理事
	菅 原 美 穂	山形県PTA連合会	前理事
	齋 藤 徹	山形県PTA連合会	前監事

《宮城県》 団体 名取市立増田西小学校父母教師会

個人	奥 野 昭 典	石巻市立広瀬小学校PTA	顧問
	和 田 牧 子	岩沼市立岩沼西中学校父母教師会	前会長
	建 村 勇 樹	山元町立山下中学校父母教師会	顧問
	松 本 誠 弘	大崎市立古川東中学校父母教師会	顧問
	阿 部 和 義	大和町立大和中学校PTA	顧問
	荒 井 偉 作	名取市立増田小学校父母教師会	会長
	森 口 能 光	名取市立第二中学校父母教師会	会長
	小野寺 孝	涌谷町立涌谷中学校PTA	会長
	千 葉 智 浩	登米市立新田小学校PTA	元会長
	畠 山 卓	加美町立小野田中学校父母教師会	元会長
	志 村 洋 一	宮城県PTA連合会	副会長

《青森県》 団体 三沢市立第三中学校父母と教師の会
五所川原市立金木小学校父母と教師の会
平内町立西平内中学校父母と教師の会
藤崎町立藤崎小学校保護者と先生の会
新郷村立西越小学校・野沢中学校父母と教師の会

個人	中 田 靖 人	青森市PTA連合会	前副会長
	富 岡 朋 尚	八戸市連合PTA	副会長
	成 田 浩 基	黒石市立中郷中学校PTA	元会長
	池 崎 美 幸	上北郡連合PTA	前会長
	工 藤 修	三戸郡連合PTA	前会長
	松 田 正 志	青森県PTA連合会	元理事
	横 田 涉 子	青森県PTA連合会	元監事

《仙台市》 団体 仙台市立岡田小学校父母教師会
仙台市立福岡小学校父母教師会
仙台市立高森小学校父母教師会
仙台市立将監中央小学校PTA
仙台市立大沢中学校父母教師会
仙台市立田子中学校父母教師会

個人	星 野 太	仙台市立大和小学校PTA	前会長
	山 口 裕 子	仙台市立沖野小学校父母教師会	会長

伊 藤 宏 明	仙台市立八木山南小学校PTA	会長
安 齋 敬 幸	仙台市立郡山小学校父母教師会	前会長
有 松 健 司	仙台市立南中山小学校PTA	元会長
阿 部 康 彦	仙台市立吉成中学校PTA	前校長

《秋田県》 団体

鹿角市立平元小学校PTA
 能代市立向能代小学校PTA
 秋田市立外旭川小学校PTA
 秋田市立河辺中学校PTA
 秋田市立下北手中学校PTA
 にかほ市立平沢小学校PTA

個人	福 嶋 正 希	小坂町立小坂中学校PTA	会長
	畠 山 佳 洋	大館・北秋田PTA連合会	前会長
	加 藤 大 地	湯上市立出戸小学校PTA	会長
	高 橋 幸 栄	美郷町PTA連合会	前会長
	宮 本 敦	横手市PTA連合会	前会長
	藤 田 健 志	湯沢雄勝PTA連合会	前会長

《福島県》 団体

福島市立飯野中学校父母と教師の会
 伊達市立伊達小学校PTA
 伊達市立石田小学校PTA
 伊達市立保原小学校父母と教師の会
 二本松市立二本松第二中学校PTA
 本宮市立本宮小学校父母と教師の会
 郡山市立薫小学校父母と教師の会
 須賀川市立第二中学校父母と教師の会
 田村市立常葉小学校父母と教師の会
 南会津町立伊南小学校父母と教師の会

個人	佐々木 義 通	福島県PTA連合会	前副会長
	渡 邊 みゆき	福島県PTA連合会	前母親代表理事
	大 泉 きよみ	福島県PTA連合会	前母親代表理事
	重 巢 吉 美	福島県PTA連合会	前事務局長理事
	佐 原 聡	福島県PTA連合会	前事務局長理事
	芦 野 孝 彦	福島県PTA連合会	前研修部長
	角 井 勇 三	福島県PTA連合会	前会計部長

令和2年度福島県PTA安全互助会加入状況(傷害・賠償事故補償制度)

令和2年度の県下小・中学校PTA加入率は、99.2%（小学校100%、中学校97.7%）である。

県内の中学校5校が本会補償制度に加入していない。

表－1 地区別加入状況

(令和2年10月1日現在)

区分 地区	小・中学校別						県立 学園 小・中	幼稚園 こども園	支援 学校	加入人数	
	小学校		中学校		合 計					学 童	P T A
	単 P 数	加 入 率	単 P 数	加 入 率	単 P 数	加 入 率					
福 島	49	100	21	100	70	100		11	2	20,440	16,968
川 俣	5	100	2	100	7	100		2		761	635
伊 達	19	100	8	100	27	100		6		5,827	4,784
安 達	25	100	11	100	36	100		12		7,855	6,468
郡 山	50	100	21④	84	71	94.6	1	5	2	23,840	19,654
岩 瀬	22	100	13	100	35	100		7		7,831	6,358
石 川	9	100	5	100	14	100		4		3,223	2,534
田 村	18	100	9	100	27	100		7		4,589	3,657
西白河	28	100	14	100	42	100		15		9,717	7,968
東白川	9	100	4	100	13	100		6		2,803	2,215
会津若松	19	100	12	100	31	100		1	2	9,116	7,502
北会津	8	100	4	100	12	100		3		1,600	1,224
耶 麻	20	100	10	100	30	100		6		3,996	3,196
両 沼	14	100	9	100	23	100		7		3,953	3,221
南会津	14	100	7	100	21	100		1		1,574	1,252
相 馬	28	100	12	100	40	100		5	1	6,954	5,620
双 葉	12	100	9	100	21	100		3		588	458
いわき	64	100	38①	97.4	102	99		14	1	24,751	20,295
合 計	413	100	209⑤	97.7	622	99.2	1	115	8	139,418	114,009

○数字は未加入校数

表－2 加入コース別小・中学校数（小中学校622校における加入率）

I コース	2校 (0.3%)	Ⅱコース	1校 (0.2%)	Ⅲコース	15校 (2.4%)	Ⅳコース	601校 (97.1%)	合 計	622校
-------	--------------	------	--------------	------	---------------	------	-----------------	-----	------

令和2年度学校・PTA活動支援補償制度加入状況

小学校 33校 中学校 2校 支援学校 1校

合計36校

校種 地区	小学校	中学校	幼稚園	養護学校	合 計
福 島	9	0	0	0	9
川 俣	1	0	0	0	1
伊 達	0	0	0	0	0
安 達	2	0	0	0	2
郡 山	6	0	0	0	6
岩 瀬	0	0	0	0	0
石 川	0	0	0	0	0
田 村	0	0	0	0	0
西白河	2	0	0	0	2
東白川	0	0	0	0	0
会津若松	2	0	0	1	3
北会津	2	0	0	0	2
耶 麻	0	1	0	0	1
両 沼	4	0	0	0	4
南会津	3	0	0	0	3
相 馬	1	0	0	0	1
双 葉	1	1	0	0	2
いわき	0	0	0	0	0
合 計	33	2	0	1	36

○ 学校・PTA活動支援加入申込人数 782名

令和2年度 賠償事故具体例と給付額

区分	校種	事故状況	給付金
人身事故	小	少年柔道大会において数人の子供たちと柔道場を走り回っていたときに、誤って後ろにいた選手の背中を押してしまい、転倒させケガを負わせた	299,500
		自宅前の道路でブーメランを家の方へ向けて飛ばしたところ、自転車で走行中の被害者の目に当たりケガを負わせた	8,304,428
		教室で上履きの取り合いをして、友の腕を引っ張ったところ自分の腕が友にぶつかり、机と椅子の脚の部分に転倒させ、ケガを負わせた	4,100,000
		飼い犬の散歩中、犬が散歩をしていた相手の犬の鼻を咬みケガを負わせた	40,130
	中	自転車で歩道を走行中、歩行者と接触しケガを負わせた	32,388
財物事故	幼	姉の友達の家でパソコンの画面を見ていて、肘がコップに当たりパソコンにお茶をこぼしてしまい破損させた	11,313
		園庭で遊んでいて、隣接している駐車場に行き、落ちていた硬いゴム片で停めてあった車のボンネットに傷を付けた	15,120
	小	神社のお祭りでおもちゃの銃で遊んでいて、玉が岩に当たって跳ね返り近くにいた人のI PADの画面にあたり破損させた	29,480
		登校中、石を投げながら歩いていたところ、投げた石が車のボンネットにあたり傷がついた	119,200
		教室で自主学習の準備をしているときに、手が相手児童の耳に接触して、補聴器が床に落ち破損させた。	17,830
		休み時間に校庭に行こうとして、玄関のガラス扉を蹴ってしまい破損させた	78,833
	中	自宅駐車場でテントを広げたところ強風が吹いて、テントがあおられ隣家のガラスに当たり破損させた	62,845
		帰宅時にアパートの目隠し壁に自転車が倒れて、ハンドルが壁にあたり穴を開かせた	30,877
		友達に友達の釣り竿で亀を釣ってほしいと頼まれ、釣り竿に糸をとおしていたら、釣り竿が折れてしまった。	14,550
		部活動中、楽器を片付けようと床に置いたテナーサックスと譜面台の間を通った際にテナーサックスのオクターブキーに引っかかって持ち上がって落下させ破損させた	77,000
PTA行事	小	PTA奉仕作業中、草刈り機で作業中に小石がはねて車に当たる	156,410

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に伴う研究大会の開催状況調査

No.	郡市P 連名称	2020. 4. 10現在			2020. 9. 28現在	
		研究大会予定日・会場・研究大会対応 (方針・予定)			開催に関する状況	備考
1	福島	10月9日(金)	とうほう みん なの文化セン ター	未定	中止を決定	
2	川俣	7月30日 (木)	川俣中央公民館	現時点では実施の予定 (状況を見ながら随時 判断)	11/9に教育懇談会として 「当番校の発表」と「講演 会」を実施する	
3	伊達	11月14日(土)	伊達ふるさと会 館	未定	中止を決定	
4	安達	8月2日(日)	安達文化ホール 安達公民館	未定	中止を決定	
5	郡山	11月26日(木)	けんしん郡山文 化センター	現時点では、実施す る予定	中止を決定	
6	岩瀬	文化センター改修工事、須賀川ア リーナは台風被災改修工事が間に合 わず。		今年度は、会場が確保で きななかったので、当初か ら中止の計画	中止	
7	石川	8月2日(日)	ひらた清風中学 校	現時点では、実施す る予定	中止を決定	
8	田村	8月9日(日)	田村市文化セン ター	現時点では、開催予定だ が、中止も視野に検討予 定	中止を決定	
9	西白	10月30日(金)	鹿島ガーデン ヴィラ	現時点では実施の予 定	実施する	
10	東白	6月13日(土)	鮫川中	中止	中止	
11	若松	11月7日(土)	ブライダルル ネッサンス中の 島	現時点では実施の予 定	現時点では実施の予定で あるが10/2(金)の役員 会で最終決定	
12	北会	6月27日(土)	猪苗代町体験交 流館「学びい な」	実施の可否を検討中	中止を決定	
13	耶麻	7月11日(土)	喜多方市総合福 祉センター	現時点では時期をず らして実施の予定	中止の方向で協議・調整中	
14	両沼	8月1日(土)	坂下中央公民館	未定	中止を決定	
15	南会	8月1日(土)	御蔵入交流館	中止	中止	
16	相馬	9月26日(土)	新地町文化交 流センター	現時点では実施予定で すが、県PTA研究大 会会津若松大会が実施 されるか否かによっ ては、中止の可能性も あります。	中止を決定	
17	双葉	*****	***	開催予定なし	開催予定なし	
18	いわ き	11月21日(土)	いわき市文化セ ンター	現在のところは実施 予定。	中止を決定	